

新潟市教育ビジョン第3期実施計画
～NEXT&NEW～

平成27年度 施策最終評価



平成28年6月2日

新潟市教育ビジョン推進委員会

新潟市教育ビジョン平成27年度施策実施状況最終報告 施策一覧

基本施策(13施策)	施策 (54施策) 網掛…【NEXT】&【NEW】に該当する施策			3期進捗 平均評価	担当課 (◎とりまとめ課, ○関係課, ※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料 頁	
					総務	学務	施設	保給	地 教 推	教 職	支 援	図 書	生 セ	中 公			総 セ
1 確かな学力の向上	1-1	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進	【NEXT】	4.3							◎		○		☆	1	
	1-2	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進		4.3						◎						3	
	1-3	基礎・基本を身に付ける教育の推進	【NEXT】	4.0					○	◎					☆	5	
	1-4	アグリ・スタディ・プログラムの推進	【NEXT】	4.0						◎					☆	7	
	1-5	学習習慣の定着		4.0						◎						9	
	1-6	読書活動の推進と新聞活用の充実	【NEXT】	3.5	○					◎	◎				☆	11	
2 豊かな心と健やかな体の育成	2-1	いのちの教育・心の教育の推進		4.0						◎		○	○			13	
	2-2	一人一人の成長を促す生徒指導の推進	【NEXT】	4.0						◎					☆	15	
	2-3	体験活動・ボランティア活動の充実		4.0						○		◎				17	
	2-4	文化・芸術活動体験の推進		5.0						◎		○				19	
	2-5	体力づくりの推進		3.7						◎						21	
	2-6	健康づくりの推進		4.0				◎								23	
	2-7	食育の推進		4.6				◎				○				25	
	2-8	青少年の健全育成の推進		4.2					◎				○			27	
3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成	3-1	地域学習の充実		5.0								◎				29	
	3-2	外国語教育・国際理解教育の充実	【NEW】	4.0						◎					☆	31	
	3-3	情報教育の充実とICTを活用した教育の取組	【NEW】	3.7						◎					☆	33	
	3-4	主体的な取組を促す環境教育の推進		4.3			○			◎		○				35	
	3-5	海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進	【NEW】	4.0						◎					☆	37	
4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進	4-1	子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進	【NEW】	5.0						◎					☆	39	
	4-2	特別支援教育のサポート体制の推進		5.0						◎						41	
	4-3	早期からの就学相談・支援の充実	【NEW】	5.0						◎					☆	43	
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1	新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組	【NEW】	4.0	◎					※	○				☆	45	
	5-2	幼児教育の充実と幼保小連携の推進	【NEW】	5.0	※					◎					☆	47	
6 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1	人権教育, 同和教育の推進, 男女平等教育の推進		3.8						◎	○	○				49	
	6-2	交流・体験活動の推進		5.0									◎			51	
7 家庭教育の充実と子育て支援	7-1	家庭教育充実への支援		4.0					※	※	○	◎				53	
	7-2	子育て支援の充実		4.5									◎			55	
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-1	主体的な学習を支えるシステムづくり		4.0								◎				57	
	8-2	学び育つ各世代への支援	【NEXT】	5.0							○	◎	○		☆	59	
	8-3	地域における生涯学習活動への支援		5.0									◎			61	
9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進	9-1	地域と共に歩む学校づくりの推進	【NEXT】	4.5					◎			○			☆	63	
	9-2	広報広聴活動の推進		4.0	◎											65	
	9-3	学校・地域・NPO等の協働の推進		4.5				◎	○			○				67	
	9-4	高等教育機関及び企業との連携推進	【NEW】	4.7						○	○	◎			☆	69	
	9-5	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画		4.0						◎			※			71	
	9-6	市民の生涯学習施設運営への参画		4.0								◎	○			73	

基本施策(13施策)	施策 (54施策)		3期進捗 平均評価	担当課 (◎とりまとめ課, ○関係課, ※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料 頁				
	網掛…【NEXT】&【NEW】に該当する施策			総務	学務	施設	保給	地教推	教職	支援	図書	生セ	中公			総セ			
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-1	防災・安全教育の充実	[NEW]	4.0														☆	75
	10-2	保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進		4.0						◎									77
	10-3	安全な学校施設		4.0			◎												79
	10-4	学びを支援する体制の整備と充実	[NEW]	4.0		◎			○	○								☆	81
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11-1	効果的な指導を支援する施設設備の充実	[NEW]	4.0		◎												☆	83
	11-2	コミュニティの拠点としての学校整備		4.0			◎												85
	11-3	学校施設の整備		4.0			◎												87
	11-4	生涯学習施設を核とした学習環境の整備		4.0							◎	○							89
12 市民に信頼される教育関係職員の育成	12-1	教育関係職員の研修プログラムの充実	[NEXT]	4.3					※			○	※	◎			☆	91	
	12-2	教職員への支援体制の充実		3.7					◎										93
	12-3	信頼される教職員の採用・登用・配置		4.3					◎										95
	12-4	教育関係職員の人事管理の適正化		4.0					◎										97
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造	13-1	新潟らしい教育改革の推進	[NEW]	4.0		◎												☆	99
	13-2	効果的・効率的な執行体制の整備		/		○			◎										101
	13-3	教育情報の収集と発信		4.0		◎													103
	13-4	学校適正配置		/		◎													105
	13-5	教育施策の管理と適切な評価		5.0		◎													107

施策評価の平均	全施策の平均	4.23
	NEXT&NEWの平均	4.25

施策評価の分布	評価5 … 指標を上回って達成した施策	17.6%	90.2%	← 平均評価5.0の施策数 ÷ 51施策 × 100
	評価4 … 指標を概ね達成した施策	72.5%		← 平均評価4.0以上評価5.0未満の施策数 ÷ 51施策 × 100
	評価3 … 指標をもう少しで達成した施策	9.8%		← 平均評価3.0以上評価4.0未満の施策数 ÷ 51施策 × 100
	評価2 … 指標を下回った施策	0.0%		← 平均評価2.0以上評価3.0未満の施策数 ÷ 51施策 × 100
	評価1 … 指標を大きく下回った施策	0.0%		← 平均評価1.0以上評価2.0未満の施策数 ÷ 51施策 × 100

指標目標の 評価基準	<p>指標目標の評価基準は下記のとおり。なお、()内は、減少指標目標の場合</p> <p>※ 達成率 = 進捗状況値 ÷ 指標目標値 × 100</p> <p>評価5 … 達成率 105%以上(95%未満)</p> <p>評価4 … 達成率 95%以上105%未満(同左)</p> <p>評価3 … 達成率 85%以上95%未満(105%以上115%未満)</p> <p>評価2 … 達成率 75%以上85%未満(115%以上125%未満)</p> <p>評価1 … 達成率 75%未満(125%以上)</p>
---------------	--

平成27年度
施策評価の総括

各施策の評価は5.0から1.0までの数値で示されており、指標目標どおり達成した場合は、評価4.0以上となる。教育ビジョンの54施策のうち数値評価できるものが51施策あるが、51の全施策の平均が、4.23、さらに、NEXT&NEWの20施策の平均が、4.25となり、両方とも、評価4.0以上となった。

また、評価の分布を見てみると、指標目標を上回って達成した評価5(平均評価5.0)が、9施策(13-(5)施策は除く)で17.6%、指標目標を概ね達成した評価4(平均評価4.0以上5.0未満)が、37施策で72.5%、両者を合わせると90.2%となった。施策の平均としては、評価4.0を超え、目標どおり達成した施策の割合が、13-(5)「教育施策の管理と適切な評価」の指標目標数値75%を15ポイント以上上回ったため、初年度である平成27年度は、ビジョンの施策全体としては、着実に進捗したものと判断する。

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.3

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)

※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	20.0	50.0				5	
進捗状況		42.5						
指標2	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	100.0	100.0				4	
進捗状況		95.0						
指標3	放課後の学習支援をする中学校(校)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	56	56				4	
進捗状況		56						
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	1.0	1.0				4	
進捗状況		1.0						
指標5	環境教育事業の実施						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	実施	実施					
進捗状況		実施						
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○持続可能な開発のための教育の啓発 ○学校訪問を通じた指導・助言	○持続可能な開発のための教育(ESD)の啓発を広報により実施 ○教頭会で、ESD研修会を実施
当初予算額 300 千円	決算額 0 千円
構成事業2「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○年間2回実施される研究主任研修会での支援 ○計画訪問、要請訪問での具体的支援	○アクティブラーニングの理解を深めるため、著名講師を招聘し、研修会を実施 ○アクティブ・ラーニング実施を支援するため、学校訪問で実態に応じた指導・助言を実施
当初予算額 0 千円	決算額 0 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○全市立中学校に、英語・数学の学習支援員を配置 ○放課後普通講座運営 ○学習支援員研修会実施	○学習支援員を全市立中学校に配置し、事業を計画通り実施 ○5月に学習支援員連絡会、10月に学習支援員研修会を実施
当初予算額 6,000 千円	決算額 5,096 千円
構成事業4 環境学習の充実(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
○環境学習への支援 ○環境学習発表会	○環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業を指定9校において実施
当初予算額 1,200 千円	決算額 1,190 千円
構成事業5 環境教育事業(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
○子ども向け環境教育事業、親子向け環境教育事業の実施	○子ども環境学習・河川等のクリーンアップ・里山の自然環境学習などのべ1,437人が参加
当初予算額 385 千円	決算額 351 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	7,885 千円	H27	6,637 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	7,885 千円	合計	6,637 千円

注: 再掲事業分を含む

● 27年度の取組に対する評価

○指導主事による学校訪問を通じて「アクティブ・ラーニング」による学びの質や深まりを重視する授業を推進するよう一年を通じて働き掛けてきた。その結果、教職員一人一人に、「アクティブ・ラーニング」を進めることで社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができるという意識を高めることができた。ESD(持続可能な開発のための教育)の概念は、広報誌「サポート」で説明することで理解を得るようになった。

○学習支援員については、市報による2回の公募・面接選考を行い、数学28名、英語40名を登録した。市内56中学校全校に支援員を配置し、全ての中学校で事業を実施した。生徒が熱心に学習し、学習意欲を深めている姿が多く見られた。

○環境教育の一層の推進を図るため、小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、小学校8校(白山小、早通小、豊栄南小、山の下小、升湯小、赤塚小、沼垂小、和納小)が事業推進した。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(豊栄南小、升湯小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。その結果、各学校で身近な環境と水俣病との関連に気付く、環境問題を自分たちの問題としてとらえる子どもたちの意識が高まった。

◎小中学生を対象にした自然体験教室や地域住民に向けた身近な環境を考える講座を実施し、自然や環境について考える機会を提供し、地元の自然の素晴らしさを実感することができた。

● 28年度の取組

○授業づくりリーフレットを発行し、学校訪問等を通じて、「アクティブ・ラーニング」による学びの質や深まりを重視する授業を推進するよう働き掛けていく。また、広報等を活用することでESD(持続可能な開発のための教育)の概念の理解をさらに広めていく。

○10月13日に学習支援員研修会を実施し、情報の共有と講座運営のスキル向上を図る。平成28年度実施予定の開講講座の計画・準備を行うとともに、実施校へのアンケート調査・集計から運営方法の検討を行う。

○小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の追加募集を行い、さらに事業実践校を増やしていく。

◎引き続き、地域団体や学校と連携した環境事業を実施することにより、身近な環境を考える機会を提供する。

● 推進委員からの意見・要望等

○ESDについて、もう少し具体的に説明をお願いしたい。

⇒文部科学省のホームページ(<http://www.esd-jpnatcom.jp/about/index.html>)では、ESDを次のように説明している。「ESDは、Education for Sustainable Developmentの略で『持続可能な開発のための教育』と訳されている。現在、世界には、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題がある。ESDとは、地球に存在する人間を含めた命ある生物が、遠い未来までその営みを続けていくために、これらの課題を自らの問題として捉え、一人ひとりが自分にできることを考え、実践していくことを身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動である。つまり、ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育である。」市教育委員会では、このESDの概念の理解が、教職員一人一人に広まっていくように努めている。

○アクティブ・ラーニングは、学校から出た学習活動だけでなく、日常の教室内の授業でも行っていくということだと思うが、そうなると先生によって取組に差が出てくると思われる。先生方の全体的な質の向上にも取り組んでいただきたい。

○文部科学省も知識と思考力の双方をバランスよく育てていくことを強く押し出しているが、高校入試や高校大学接続ということを考えた場合、どうしても知識のほうにウエイトがかかるかと思う。その点について市教育委員会としては、どのような対応もしくは取組をしているのか。

⇒知識の確かな獲得は、子どもたちの主体的な学習活動を通じて、初めて成し遂げられると考えている。そういった意味で、しっかりとした知識の獲得と同時に、子どもたちが自ら学ぶといったアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を展開するように、各学校に対して指導している。また、高校入試については、近年、一般選抜高校入試において、学校独自検査が入ってきている。1日5教科で終わっていた入試が、2日目にA問題、B問題という思考力や知識活用力を問う問題が導入されてきている。市内の高校や県立高校でもすでに導入されていて、高校入試の流れは思考力を問う方向に向かっている。大学入試も近年、同様の方向に向かっている。したがって、市教育委員会が、現在、推し進めているアクティブ・ラーニングを重視する事業展開は、時代に対応していると考えている。

○アフタースクール学習支援事業を推進するに当たって、部活動との兼ね合いについてどのような状況になっているか聞かせてほしい。⇒現在のところ、学校規模にかかわらず、学習支援員の配置数や配置回数については同一である。限られた条件の中で、多くの中学校が対象を3年生に絞ってこの事業を実施している。部活動は、運動系の場合は、3年生は6月で終了するケースが多い。また、大会を勝ち抜いて上位大会に進んだ3年生でも9月には、部活動を終了している。したがって、多くの学校で、6月もしくは9月にこの事業をスタートさせ、部活動との重複を回避するような工夫をしている。

基本施策 1	確かな学力の向上	施策(2)	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進(p.18)
--------	----------	-------	------------------------------

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.3

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)

※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	キャリア教育の充実を目指して年間指導計画を作成、改善した学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	70.0	80.0	90.0	100.0	100.0	100.0	5	142.9%
進捗状況		100.0						
指標2	高等教育機関・関係機関より講師を招聘し、キャリア発達に資する思考力・判断力・表現力を育む授業をした学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	66.7	100.0	100.0				4	149.9%
進捗状況		100.0						
指標3	大学見学・職場見学、インターンシップ(就業体験)等を実施した学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0				4	100.0%
進捗状況		100.0						
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1		キャリア教育推進事業	
H27事業計画		H27事業成果	
○小学校(各区1校程度)でキャリアアドバイザー「夢授業」を実施		○「夢授業」を7校で実施し、将来への夢を持ち、自己実現を図るために活用	
○中学校にキャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を配付		○「中学生キャリア教育」を全中学校に配付し、職場体験等で活用	
当初予算額	1,052 千円	決算額	720 千円
構成事業2			
H27事業計画		H27事業成果	
○高等教育機関や企業等からの講師による授業実施		○高等教育機関や企業等からの講師による授業を3校で開催	
○大学見学・職場体験、インターンシップ等の実施		○大学見学・職場体験・インターンシップを開催	
当初予算額	647 千円	決算額	605 千円
構成事業3			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,699 千円	H27	1,325 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	1,699 千円	合計	1,325 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○キャリアアドバイザー「夢授業」活用事業については、これまでの実績等をふまえ、対象校(松浜小, 中野山小, 笹口小, 大淵小, 荻川小, 小針小, 鎧郷小)を選出した。「夢授業」を受けたことで、児童が将来への夢をもつ様子が見られた。

○キャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を、中学校では職場体験の事前学習に活用している。また、職場体験の受入先にも配付し、キャリア教育理解への資料としてもらっている。

○6月に大学講義体験を実施した。受講した生徒に、大学での学びに関する知識を深めてもらい、生徒の進学意欲を高めることができた。

○保護者啓発事業では、5月に保護者を対象した講演会を実施した。保護者に、子どもの進路を決定する際の留意点等の理解を深めてもらった。

●28年度の取組

○リーフレット「中学生のキャリア教育」を各校へ配布する。

○保護者啓発事業を実施する予定である。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	61.6	61.7	61.9	62.0			5	111.2%
進捗状況		68.5						
指標2	全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	59.5	59.7	59.9	60.0			3	94.1%
進捗状況		56.0						
指標3	全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	53.1	53.2	53.4	53.5			5	124.5%
進捗状況		66.1						
指標4	全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	61.0	61.2	61.3	61.5			2	79.0%
進捗状況		48.2						
指標5	児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	83.1	84.0	84.5	85.0			4	105.5%
進捗状況		87.7						
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	69.8	70.5	71.0	72.0			4	101.3%
進捗状況		70.7						
指標7	生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	79.1	80.0	80.5	81.0			5	107.5%
進捗状況		85.0						
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	69.0	70.0	71.0	72.0			4	102.2%
進捗状況		70.5						

●施策を構成する事業

構成事業1 学力実態調査	
H27事業計画	H27事業成果
○市内全小学5年生と中学2年生に学力調査(CRT)を実施(小学5年…社会, 中学2年…社会, 英語) ○学力実態報告書の作成・配付	○市内小学校5年生6,506名, 中学2年生6,777名が学力調査(CRT)を実施 ○学力実態報告を作成し, 各校に配布
当初予算額 6,381 千円	決算額 6,555 千円
構成事業2 学力定着支援事業	
H27事業計画	H27事業成果
○小学校3・4・5・6年生と中学校全学年用の算数・数学の単元評価問題の作成・配信(年8回) ○理科の評価問題を作成・配信(年4回)	○小学校3・4・5・6年生の算数と中学校全学年の数学の単元評価問題及びサポート問題を年9回配信 ○理科の評価問題を年間4回配信
当初予算額 506 千円	決算額 506 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○全市立中学校に、英語・数学の学習支援員を配置 ○放課後普通講座運営 ○学習支援員研修会実施	○学習支援員を全市立中学校に配置し、事業を計画通り実施 ○5月に学習支援員連絡会, 10月に学習支援員研修会を実施
当初予算額 6,000 千円	決算額 5,096 千円
構成事業4 学習支援員派遣事業	
H27事業計画	H27事業成果
○新潟市内各校の希望の集約と学習支援ボランティアの派遣	○学習支援ボランティア派遣プロジェクト, 未来の先生プロジェクトにおいて, 合計86校176名の学生を各学校園に派遣
当初予算額 3,295 千円	決算額 3,320 千円
構成事業5 理科大好きプロジェクト	
H27事業計画	H27事業成果
○観察実験アシスタント(PASEO)の配置 ○理科大好きシンポジウムと科学教室の開催	○観察実験アシスタント(PASEO)を40校に配置 ○理科大好きシンポジウムと科学教室の開催
当初予算額 3,400 千円	決算額 3,400 千円
構成事業6 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
○研修会(第1・2・3研修会・教職員のみ対象の研修会・区研修)の開催 ○ウェルカム参観日等事業の市民への周知	○本事業にかかる研修会を開催し, 学校担当者, 地域教育コーディネーター, 学社民融合支援主事合わせて延べ1,365名が参加 ○市民へ周知のため, ウェルカム参観日を16校で実施
当初予算額 147,834 千円	決算額 145,520 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	19,582 千円	H27	18,877 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	19,582 千円	合計	18,877 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○【全国学力・学習状況調査による学力実態】

- ・国語A 小学校:73.5%(全国比+3.5), 中学校:76.0%(+0.2)
- ・国語B 小学校:69.3%(全国比+3.9), 中学校:66.1%(+0.3)
- ・算数数学A 小学校:77.6%(全国比+2.4), 中学校:65.7%(+1.3)
- ・算数数学B 小学校:45.9%(全国比+0.9), 中学校:43.7%(+2.1)
- ・理科 小学校:65.8%(全国比+5.0), 中学校:52.7%(-0.3)

○学校訪問や研修会の開催等により、各学校で全校体制での授業改善の取組が浸透してきた。計画訪問で指導主事が授業について具体的に指導したほか、校長等、階層別の研修会で学校全体の取組を支援してきたことが成果につながっている。なお、算数B・数学Bの平均正答率は、全国を上回ったものの指標目標は達成できなかった。特に、数学Bは問題の難易度が高く、全体の度数分布が低位に偏ったため、目標値を下回った。問題を詳細に分析したところ、主に数学的表現を用いて説明することに課題があった。その課題解決に向けて、各校では授業改善に努めた。

○学力定着支援事業の評価問題や指導の要点等の配信の継続により、全校での活用方法も定着してきた。基礎的な学力定着の成果として、特に全国学力・学習状況調査における中学校数学での数値の伸びが見られた。理科の評価問題配信も4年目を迎え、各校で授業の課題や、改善の方向性が明らかになった。また、各校に配置した理科支援員は有効に活用されている。

○現在、137名の学生が学習支援ボランティアとして活動している。学校からは教育活動への高い貢献、学生からは、教育実習では得られない貴重な経験が得られたという声が寄せられた。

○理科支援員を40校に配置。理数大好きシンポジウムと科学教室を総合教育センターにて開催した。

○数学28名、英語40名の学習支援員を登録した。市内56中学校全校に配置し、全ての中学校でアフタースクール学習支援事業を実施した。年度末に実施校にアンケート調査をしたところ、事業への肯定的評価が8割を超えていた。

◎地域と学校パートナーシップ事業では、1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)が1,531名で27年度指標目標を大きく上回った。これは、授業支援、教育活動支援ボランティアの増加に加え、27年度よりボランティアの位置づけが変わった登下校支援ボランティアを新たに計数した学校があったためと考えられる。

◎地域と学校ウェルカム参観日を16校で実施し、のべ3,478名の参加があった。学校の教育活動を地域に広く発信することができた。

●28年度の取組

○全国学力・学習状況調査の結果を受けて、各学校がより一層校長を中心とした日々の授業改善に取り組めるよう、下記研修会を開催する。また、改訂版「新潟市の授業づくり」及び「授業づくりガイドブック」を活用した校内研修の充実を図っていく。

・授業マネジメント研修会(校長対象 10月, 教頭対象 11月)

・授業改善戦略フォーラムⅡ(研究主任対象 1月)

○単元評価問題配信事業については、引き続き、算数・数学、理科の評価問題及び解説等を作成し、配信する。

○理科支援員は配置された学校で有効に機能しており、配置を希望した学校にできる限り対応する。

○9月以降にボランティアを開始する予定の学生もいる。中間交流会の意見を踏まえ、ボランティア活動が更に充実するように働きかけていく。

○10月13日に学習支援員研修会を実施し、情報の共有と講座運営のスキル向上を図る。平成28年度実施予定の開講講座の計画・準備を行うとともに、実施校へのアンケート調査・集計から運営方法の検討を行う。

◎学校関係者の理解とより質の高い地域連携を促すため、校長を対象とした学校マネジメント研修を開催する。また、学校担当者の研修を改善する。

◎公民館学社民融合支援主事に加え、図書館職員にパートナーシップ事業研修会への参加を促す。

◎新任コーディネーターのスキルアップを図るため、新任コーディネーター研修を新設する。また、新任コーディネーターを支援するため、相談役としてアドバイザーコーディネーターを各区に配置する。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0							
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	25.0	50.0	75.0	100.0	100.0	4	
進捗状況	25.0							
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-							
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業【新規】	
	H27事業計画	H27事業成果
	○評価サポート委員会によるアグリパーク等での教育活動参観と改善すべき点の検討を実施 ○アグリ・スタディ・プログラムの改訂作業の実施 ○研修会でのASP活用のポイントの周知	○アグリパーク等での教育活動等を参観し、改善点を検討する 評価サポート委員会を3回実施 ○アグリ・スタディ・プログラムの改訂版を12月に発行 ○年間4回の体験研修会で、ASP活用のポイントを周知
当初予算額	0千円	決算額 0千円
構成事業2	0	
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3	0	
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4	0	
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5	0	
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6	0	
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	0 千円	合計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○評価・サポート委員会を開催し、アグリパークでの教育活動の参観、及び学校側、アグリパーク側で改善すべき点を明確にした。それを各研修会の内容に反映できた。

○年度末にASP(アグリ・スタディ・プログラム)推進委員による情報交換会を実施し、教育課程への見直しをもったASP活用やアグリパークを利用する大規模校への対応などの課題について検討を行った。具体的に以下のような点が指摘された。

- ・体験活動を「確かな学び」にすること
- ・農業が盛んな地域におけるASPの在り方
- ・キャリア教育の取組の拡充
- ・大規模校への対応
- ・施設利用、バス利用の手続きの簡素化
- ・バス代補助

※アグリパークにおける大規模校への対応、バス代補助については、小学校からの情報と重なる。中学校では、キャリア教育の可能性にASP活用の方向を見いだすことができそうである。なお、手続きの簡素化については、意見として受けた。

○以上の情報を受けて、「農業体験学習を充実するためにASP推進委員としてやるべき事は何か」というテーマで、さらに協議を行った。

●28年度の取組

○第2回評価・サポート委員会を開催し、アグリ・スタディ・プログラムのさらなる活用に向けての方策を明らかにする。また、それを活かしたプログラムの改訂作業を進める。

○教職員向けのアグリパーク体験研修を4回開催する。

○初任者研修にアグリパーク体験研修を位置づけ実施する。

○「アグリ・スタディ・プログラム総合推進会議」、「アグリ・スタディ・プログラム推進委員会」「評価・サポート委員会」を計画的に開催し、アグリ・スタディ・プログラムのさらなる活用を推進する。

○アグリ・スタディ・プログラムを活用した実践成果を発表する会に向けた準備を進める。

○アグリ・スタディ・プログラム活用の様子を広報等によって発信する。

●推進委員からの意見・要望等

○小学校のアグリ・スタディ・プログラムに基づく体験学習の実施割合が100パーセントとなっているが、その実施状況とこの事業の予算0について説明を聞きたい。

⇒教育ファームは、アグリパークだけでなく学校田や学校の畑も含んでいる。それらを活用しての体験学習が100パーセントとなっている。事業予算については農林水産部から出ているので、ここでは0となっている。

○アグリパークの施設規模の関係で大規模校が利用しにくいこともあるかと思うが、その大規模校へはどのように対応しているのか。

⇒宿泊を伴わない場合は、1回で大人数が利用できることや、宿泊が伴う場合でも、例えばクラスが4クラスある場合、4回に分けて宿泊体験学習をするなどの例が出てきてる。これらの事例を大規模校にも紹介して今後の活用を奨励していきたい。

○アグリ・スタディ・プログラムは、郷土愛を育んだり、新潟市の基幹産業となる農業への理解を図ったりする大事なプログラムだと思っている。今は、学校関係が中心となって活用しているが、内容によっては社会教育関係でも活用を考えていってほしい。

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	家庭学習を1時間以上する中学校2年生の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	51.3	51.8	51.9				4	101.0%
進捗状況		51.8						
指標2							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標3							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標4							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標5							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標6							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標7							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標8							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1	学習習慣定着事業	
	H27事業計画	H27事業成果
○家庭学習実態調査の実施 ○啓発活動の推進(パンフレット・HP等)		○「新潟市生活・生活学習意識調査」にて、家庭学習実態にかかわる調査を実施(11月) ○市立学校小学校1年生、3年生、5年生、中学校1年生にパンフレットを配付(4月)、ホームページにパンフレットを掲載
当初予算額	534 千円	決算額 223 千円
構成事業2		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	534 千円	H27	223 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	534 千円	合計	223 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○4月に家庭学習習慣啓発リーフレット「家庭学習のススメ」を改訂し、全児童生徒に配付した。小学校版は、1・2年生用、3・4年生用、5・6年生用に分け、学年の発達段階に応じた家庭学習への取組を紹介している。中学校版も、5教科について、家庭学習の参考となる取組について紹介している。各学校で家庭学習の仕方について指導する際の有効な資料となった。

●28年度の取組

○家庭学習について、全校体制で取り組んでいない学校があるので、担任や教科担当に任せきりにならないよう、各種研修会や学校訪問等で周知していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
3.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	77.2	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	4	97.9%
進捗状況	75.6							
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	55.1	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	5	112.7%
進捗状況	62.1							
指標3	中学生の不読率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	12.1	12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	4	98.3%
進捗状況	12.3							
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	2.7	2.8	2.8				1	37.0%
進捗状況	1.0							
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	0						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 学校図書館活用推進校事業	
H27事業計画	H27事業成果
○小学校21校, 中学校9校を学校図書館活用推進校として指定 ○年度末(2月)に実践発表会開催 ○学校支援課だより「サポート」で代表的実践例紹介	○小学校21校, 中学校9校を学校図書館活用推進校として指定し, 2月に実践発表会を開催 ○学校支援課だより「サポート」で推進校の実践例を掲載
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 学校図書館支援事業	
H27事業計画	H27事業成果
○蔵書システム運用サポート体制整備(4月) ○学校図書館地域開放実施(7, 8月) ○学校図書館支援センター運営検討委員会開催, 次年度司書配置(3月)	○蔵書管理システム運用サポート校の指定(8校) ○夏季休業中の学校図書館地域開放実施(89校) ○学校図書館支援センター運営検討委員会開催(H28.3.2)
当初予算額 700千円	決算額 535千円
構成事業3 学校図書館支援センター事業	
H27事業計画	H27事業成果
○学校訪問, 相談対応 ○新任学校司書研修, 学校司書実務研修の実施 ○学校への貸出図書搬送事業の継続 ○学校貸出セット【オレンジBOX】追加整備と貸出の継続	○学校図書館訪問 307回 ○相談対応 1,307件 ○新任学校司書研修6回, 実務研修8テーマ9回実施 ○学校貸出図書搬送 2,856箱 ○学校貸出セット【オレンジBOX】依頼件数185件
当初予算額 1,260千円	決算額 1,153千円
構成事業4 新聞活用の推進【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○推進校における, 新聞活用教育の授業実践の支援 ○各区の新聞活用教育推進校の教育実践のまとめ	○推進校を核とした新聞活用教育の授業実践 ○各区小中1校を新聞活用教育推進校として指定
当初予算額 200千円	決算額 200千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,160 千円	H27	1,888 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	2,160 千円	合計	1,888 千円

注：再掲事業分を含む

● 27年度の取組に対する評価

◎「学校図書館活用推進校」事業を、初年度は30校(小学校21校・中学校9校)で実施した。5月に説明会を実施し、8月に総合教育センターが開催した「教員と司書との連携充実」講座<探究学習編>には多くの推進校からも参加し、学校図書館を活用した探究型学習について学びを深めた。2月に区ごとで開催した実践発表会では、管理職のリーダーシップのもと学校を挙げての取組みの報告などもなされ、成果と課題を共有化し、次年度推進校にも伝えることができた。

◎学校司書を引き続き全小・中学校に配置し、蔵書管理システムの円滑な運用ができるようサポート体制を整備した。夏季休業期間に小学校の学校図書館を地域開放し、児童の利用のほか、保護者や地域の方々にも学校図書館の利用を通して、学校図書館への理解を深めてもらうことができた。

◎4つの学校図書館支援センターが、市立小・中学校、中等教育学校、特別支援学校の全校を訪問し、学校図書館の業務の相談に応じた。新任学校司書研修を6回、学校司書実務研修を8テーマ9回実施、学校司書のスキルアップと業務の平準化を進めた。

◎市立図書館から学校へ必要な資料を貸出しする団体貸出が、小・中学校合わせて58,882冊にのぼるなど、授業や読書活動を支援した。学校からの要請により、学校ボランティアの読み聞かせ研修を8校行い、ボランティアの活動を支えることにより、学校と地域の連携に繋がった。

◎「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」の新規重点事業である「うちどく(家読)」について、各校の取組状況を聞き取りながら情報提供を行い、家庭ぐるみの読書活動の推進に繋がった。また、同じく新規重点事業である特別支援学校の学校図書館整備に向けて、教育委員会関係課で検討会を開催し、課題を共有化することにより、蔵書の整備が進められた。

○ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が全国平均を1ポイント上回ったものの、指標目標に対しては達成率が大きく下回る結果となった。これは、家庭に活字離れの傾向や新聞不購読の広がりがあり、新聞にふれる機会が少なくなっていること、全中学校で新聞が有効に配備されず、また学習等で有効に活用されていないことなどが原因と考える。

◎「新潟市新聞活用推進事業」に基づいて、各区の小・中学校で重点的に取組む学校(小・中学校各8校)を決めて新聞配備し、新聞活用教育の実践が進められた。

● 28年度の取組

◎学校図書館が、「読書センター」「学習・情報センター」としての役割を担っていけるよう、引き続き教育委員会関係課・機関が連携して学校の取組を支援する。

◎2年目に入る「学校図書館活用推進校」事業では、初年度の実践事例をホームページで紹介するとともに、学校図書館支援センターによる学校図書館訪問における情報提供や、総合教育センターの「教員と司書との連携充実」講座<図書館活用推進編>において初年度の実践報告を行うなど関係課・機関が連携して学校図書館の活用がさらに広がるよう支援する。

◎学校図書館支援センターが、引き続き学校図書館を訪問し、新任学校司書の配置校や支援が必要な学校には、個別に支援を進める。授業での学校図書館活用や全校での読書活動、「うちどく(家読)」、地域ボランティア等の情報を収集し、情報提供を行う。新任学校司書研修を体系的に6回実施し、学校司書実務研修では、全体研修「学校活動における著作権」や、各支援センターの担当区ごとにテーマを設け実施する。

◎市立図書館から学校へ必要な資料を提供する団体貸出、学校貸出図書搬送を継続実施すると共に、授業テーマに沿った学校貸出セット【オレンジBOX】の周知を図り、利用状況を聞き取りながら必要に応じて追加整備を行う。

◎「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」の重点事業では、市立図書館で配布する「うちどく読書ノート」なども活用し、「うちどく(家読)」を就学前の子どものいる家庭を含めて広く呼びかける。また、特別支援学校の学校図書館整備に向けて、引き続き教育委員会関係課と連携し取組を進める。

◎新聞配備や生活や学習の場での活用推進を図るため、新潟市新聞活用教育(NIE)推進事業を継続して行う。(区で小・中学校各1校、計16校)また、活用実践校における取組を報告集にまとめ、各校に配付し、取組の広がりを目指す。

○小学校から新聞を読む素地を育て、中学校につなげるために、学校図書館活用推進校事業の中でも、児童生徒向け新聞の配備、生活や学習の場での活用推進の取組を行う。(小学校22校、中学校11校)

● 推進委員からの意見・要望等

○「新潟市新聞活用推進事業」では、配備された新聞をどのように活用しているのか、また、新聞は複数紙が配備されているのかを聞きたい。

⇒NIE推進校では、新聞を使った授業を積極的に展開している。また、NIE推進校では、普通紙3紙を配備している。

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.0

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)

※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	79.8	80.0	80.0				4	98.4%
進捗状況		78.5						
指標2	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	70.6	72.0	72.0				4	102.5%
進捗状況		72.4						
指標3	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	96.0	96.5	96.5				4	99.2%
進捗状況		95.2						
指標4	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	96.1	96.5	96.5				4	99.5%
進捗状況		95.6						
指標5	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	97.5	98.0	98.0				4	99.6%
進捗状況		97.1						
指標6	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	94.3	95.0	95.3				4	101.0%
進捗状況		95.2						
指標7	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	4	104.8%
進捗状況		94.5						
指標8	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	24.5	26.3	26.3	28.0	28.0	29.8	3	100.0%
進捗状況		24.5						
指標9	家庭教育学級数(講座)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	63	63	64	64	65	65	5	112.7%
進捗状況		71						

構成事業1	道徳教育の充実、福祉教育の充実、人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進(再掲)	
	H27事業計画	H27事業成果
	○人権教育、同和教育に関する研修会等を実施 ※当初予算額欄は人権教育関係の予算額	○道徳教育研修会を3回実施 ○計画訪問研修で、道徳授業の指導法の工夫・開発を10回以上実施 ○福祉読本の改訂版を配布 ○全小・中学校で年2回人権教育、同和教育の研修会を実施
当初予算額	408,320 千円	決算額 264 千円
構成事業2	家庭教育振興事業(再掲)	
	H27事業計画	H27事業成果
	○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習の出前講座の実施(小・中学校) ○乳幼児期等家庭教育学級及びプレママ学級の実施 ○家庭教育フォーラムの実施	○朝ごはん料理講習会の実施(39か所) ○子育て学習の出前講座の実施(小104校, 中14校) ○乳幼児期から思春期までの家庭教育学級 64事業 ○プレママ学級 4事業
当初予算額	12,100 千円	決算額 9,010 千円
構成事業3		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	420,420 千円	H27	9,274 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	420,420 千円	合計	9,274 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○文部科学省主催の小学校及び中学校各教科等担当指導主事等連絡協議会で受講した道徳の教科化に向けた研修内容を、教育課程説明会において伝達した。また、道徳教育の啓発及び道徳の時間の授業づくり等について、計画訪問や要請訪問の際に指導した。

○管理職への人権教育、同和教育研修として、新潟市同和教育研究協議会総会、生涯学習センター主催の研修会、新潟県同和教育研究協議会研究集会を実施した。

○外部講師派遣事業による研修、新発田隣保館での現地研修を、夏季休業中を中心に各中学校区で実施した。

◎早寝早起き朝ごはん推進事業では、早寝早起き朝ごはん運動を推進し、学校や地域と連携・協力しながら、朝ごはん料理講習会を39か所で実施。アンケート結果では、朝ごはんの大切さを認識した、参加者で協力しあい楽しく調理できたといった声が多く寄せられ、基本的な生活習慣の形成や地域づくりに資することができている。

◎子育て学習出前講座については、小学校104校、中学校14校において、就学時健診や新入生学校説明会に家庭教育に関する講師を派遣し、講演を通じて家庭教育への意識啓発と家庭教育力の向上を図った。

○乳児期から思春期までの家庭教育学級や、プレママ学級、父親学級、孫育て講座を実施することにより、子育ての知識や情報、親としてのかかわりなどを学ぶ機会を提供し、家庭教育の充実を図った。(乳児期家庭教育学級23講座、幼児期家庭教育学級21講座、児童期14講座、プレママ学級4講座、父親学級2講座、孫育て講座3講座)

◎家庭教育の大切さを再認識してもらい、家庭・学校・地域が連携して家庭教育力の向上を目指していくため、PTAと連携して家庭教育フォーラムを実施した。

●28年度の取組

○人権教育、同和教育担当者研修会の開催準備を進める。

○全人教長野大会等での研修成果を今後各校への研修に生かす。

○計画訪問及び要請訪問時に、教科化に向けた道徳教育の指導の啓発及び地域の人材などを活用した道徳教育の推進をさらに働き掛ける。

◎早寝早起き朝ごはん推進事業に関連する講習会等を、学校や地域と連携・協力しながら実施するほか、ホームページや広報紙等を通して普及啓発を図って行く。

○子育て学習出前講座については、就学時健診や新入生学校説明会等に家庭教育に関する講師を派遣し、講演を通じて家庭教育への意識啓発と家庭教育力の向上を図る。

○中学校の子育て出前講座は、入学説明会に限定して実施してきたが、今後は、ほかの時期にも実施できるように柔軟に対応する。

◎家庭教育の大切さを再認識してもらい、家庭・学校・地域が連携して家庭教育力の向上を目指していくため、PTAと連携して家庭教育フォーラムを実施する。

○引き続き、子どもの成長期にあわせた家庭教育学級を実施し、家庭教育の充実を図る。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.0

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)

※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	61.1	66.7	66.7				5	136.3%
進捗状況		83.3						
指標2	小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	96.2	100.0	100.0			100.0	4	99.7%
進捗状況		95.9						
指標3	中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	94.5	100.0	100.0			100.0	4	103.8%
進捗状況		98.1						
指標4	小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	0.40	0.38	0.38				3	95.0%
進捗状況		0.42						
指標5	中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	2.69	2.65	2.62				4	101.9%
進捗状況		2.64						
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 いじめ対策等生徒指導推進事業【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○本市の生徒指導の考え方・体制について周知を図るための研修会の実施 ○いじめ防止に関する会議(いじめ防止市民連絡協議会、いじめ防止対策等専門委員会)の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめの積極的な認知と組織的な対応を推進するための研修会や指導を実施 ○いじめ防止市民連絡協議会を2回、専門委員会を3回、いじめ防止市民フォーラムを1回開催
当初予算額 200 千円	決算額 210 千円
構成事業2 教育相談ネットワーク事業・カウンセラー等活用事業	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラーを全ての中学校、高等学校、中等教育学校及び希望する小学校22校に配置 ○生徒指導カウンセラーを、希望する小学校24校に派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談センターによる、教育相談をのべ15,717回実施 ○小・中・高等学校に派遣したカウンセラーが、児童生徒、保護者への適切な助言を行い、抱えている問題を解消
当初予算額 88,451 千円	決算額 89,532 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	88,651 千円	H27	89,742 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	88,651 千円	合計	89,742 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○「自律性と社会性を育む生徒指導」説明会を、校長・生徒指導主事・生活指導主任を対象に実施し、本市の生徒指導の考え方や体制・組織等についての周知を図った。

○児童・生徒の自律性・社会性の育成及び問題への適切な対応に向けて、学校訪問等の機会をとらえて、生徒指導ガイドブック・リーフレットの内容に基づいた指導・支援を行った結果、生徒指導と授業の一体化を意識した授業づくりが行われた。

○いじめ防止市民連絡協議会を2回、いじめ防止対策等専門委員会を3回実施した。いじめの現状について情報共有を図るとともに、未然防止等に向けた取組や具体的な事案への対応の検討等を行った結果、問題の解消を図ることができた。

○カウンセラー配置・派遣では、スクールカウンセラーを全ての中学校、高等学校、中等教育学校に配置するとともに、希望する小学校22校に配置した。児童生徒、保護者、教職員へのカウンセリングと校内研修の助言等を行い、児童生徒、保護者が抱えている問題の解決または一定の解消が見られた。

○生徒指導カウンセラー8名を希望する小学校24校に1回2時間で計120回派遣し、教職員の抱えている事案にコンサルテーションを行い、問題解決の一助になった。

○東日本大震災、福島第一原発事故で被災し、市内の学校・園に通学している児童生徒に対して、心のケアを実施することで、不安を和らげ、安定した学校生活を送らせることができた。

○各学校からの欠席報告を確実にを行い、各区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、各区教育相談室など、不登校にかかわる機関で情報を共有し、不登校の未然防止の意識を高めた。不登校数の多い学校には、直接学校訪問し指導した結果、減少に向けたより具体的な取組が行われるようになった。

●28年度の取組

○学校訪問等を通じて、児童生徒の自律性・社会性の育成及びいじめの積極的な認知と適切な対応に向けた指導を継続する。

○例年実施している「いじめ防止市民フォーラム」を、「教育フォーラム」として開催する。

○いじめ防止市民連絡協議会、いじめ防止対策等専門委員会を計画的に開催する。

○各学校からの欠席報告を各区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、各区教育相談室など、不登校にかかわる機関で情報を共有し、不登校の未然防止の取組を継続して行う。

○28年度のカウンセラー配置では、全ての小学校に配置することとし、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校の全ての市立学校にカウンセラー配置をする。

●推進委員からの意見・要望等

○不登校は、複合的要因により発生する。中には児童生徒本人を取り巻く家庭環境等に課題を抱えていることが要因となっている場合もある。そのようなとき、SSW(スクールソーシャルワーカー)の活用は、課題解決に向けて大きな可能性を秘めている。市教育委員会では、SSWを始めとして関係機関との連携について、どのような取組を行っているのか聞きたい。
→家庭環境の改善など、教職員だけではなかなか対応できない状況のとき、SSWの活用が有効であるので、今年度はSSWを1名増員し、全部で3名体制で事案に当たっている。また、市では、適応指導教室や訪問相談員のシステムが大変機能しているので、引き続き、活用を図っていくとともに、福祉関係の機関とも積極的に連携をしていきたい。

○不登校等の課題を抱える児童生徒は、ゼロ歳児、乳幼児期の家庭環境が大きいと聞いている。親の教育というところにもスポットライトを当てていく必要がある。

○今年度から、市内のすべての小学校にカウンセラーが配置された。不登校等のあるなしにかかわらず、年間を通して、児童やその保護者の教育相談に当たってもらえるということで、大変ありがたいと感じている。

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	自然体験学習を実施した学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	93.8	94.0	95.0			95.0	4	102.8%
進捗状況	96.4							
指標2	子供向け体験活動事業参加者数(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	21,011	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	4	97.6%
進捗状況	20,516							
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 自然体験学習の支援	
H27事業計画	H27事業成果
○自然体験学習推進事業による小学校1学級当たり7万円のバス代補助の実施 ○体験学習の意義等の周知	○小学校110校中106校(224学級)が本事業を活用
当初予算額 11,325 千円	決算額 14,359 千円
構成事業2 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業	
H27事業計画	H27事業成果
○集団活動・体験活動事業等の実施 ○ジュニアリーダー講座の実施	○子ども向け各種体験事業・ジュニアリーダー講座など287講座を実施
当初予算額 3,919 千円	決算額 3,135 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6 地域と学校パートナーシップ事業【再掲】	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	15,244 千円	H27	17,494 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	15,244 千円	合計	17,494 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○自然体験学習推進事業については、106校で実施され(本事業を活用した学校の割合:106校/110校=96.4%),子どもたちに豊かな人間性や社会性が育まれた。

○学校が休みになる土日や夏休み期間を中心に、ものづくりなどの体験活動や家庭ではできない集団活動、キャンプなどの野外活動などを実施し、子どもたちの健全育成を図ると同時に、子どもたちの仲間づくりを推進した。

○中央区の中学校でジュニアリーダー育成講座を開催し、コミュニケーションスキルや協力しあう難しさと大切さを学ぶ機会となった。

●28年度の取組

○自然体験学習推進事業、農業体験学習を実施し、その意義、留意点等を「Support」に掲載し、周知を図る。

○自然体験や生活体験が希薄な子どもたちに、土日や長期休みの期間に体験活動事業を実施し、地域の大人や異なる学年の子供たちと交流することで、子供たちの豊かな心を育み、仲間づくりをすすめる。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
5.0

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	優れた音楽や芸術に触れる機会の提供(回)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	2	2	2				5	150.0%
進捗状況		3						
指標2	伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	5,081	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5	131.1%
進捗状況		6,663						
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 優れた音楽・芸術に触れる機会の提供	
H27事業計画	H27事業成果
○わくわくキッズコンサートの開催 ○「心の劇場」招待公演の開催 ○文化芸術による子供の育成事業 巡回・派遣公演 ○事業内容の検討	○わくわくキッズコンサートの実施 ○「心の劇場」招待公演の実施 ○文化芸術による子供の育成事業巡回・派遣公演を12校で実施 ○事業内容の検討実施
当初予算額 30,671 千円	決算額 38,601 千円
構成事業2 伝統文化の体験学習(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
○地域の文化や伝統, 守るべき自然などを体験	○子ども大風合戦・漆器の絵付け体験・囲碁, 将棋教室など103講座の実施
当初予算額 1,725 千円	決算額 1,678 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	32,396 千円	H27	40,279 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	32,396 千円	合計	40,279 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○わくわくキッズコンサートでは、市内116校の小学5年生6,739名が東京交響楽団による演奏の鑑賞を行った。本番に先駆けて行われた演奏者による学校訪問「アウトリーチ」には多数の応募があった。そのうち60校で9月15日・16日・17日・18日の4日間にわたって実施され、演奏家との交流により、児童のコンサートに対する関心を高めることができた。10月20日、10月21日、両日とも運営スケジュール通り本公演が実施された。コンサートホールで鑑賞するオーケストラの演奏の素晴らしさに感動した体験やオーケストラに対する関心が高まったという感想が事後に多く寄せられた。

○鑑賞を希望した市立小学校112校6,848名の6年生を招待した「こころの劇場ミュージカル～むかしむかしゾウがきた～」10月14日、10月15日、10月16日に公演された。一流の劇団によるミュージカル鑑賞を通して演劇やミュージカルに対する児童の関心を高めることができた

○文化芸術による子供の育成事業(文化庁主催)の巡回公演では3校が応募し、そのうち2校が音楽公演、1校が演劇公演を実施した。同事業の芸術家派遣では9校が応募し、そのうち音楽に関する派遣を7校、美術と伝統芸能に関する派遣を各1校で実施した。芸術家による公演や実技指導を直接体験することにより児童生徒の演奏技能や鑑賞意欲の向上につながった。

○新潟漆器の絵付けや、南区の大凧合戦、巻の鯛車づくりなど、地域の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統・文化の素晴らしさや継承することの大切さを知ってもらう機会とした。

●28年度の取組

○わくわくキッズコンサート及び「こころの劇場ミュージカル」の公演終了後、課題を明らかにして来年度の開催に活かす。

○引き続き、地域や日本の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統・文化の素晴らしさや継承することの大切さを理解してもらう。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
3.7

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	中学校の体力テストの各項目で全国平均値を上回った項目の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	50.0	51.0	52.0			55.0		
進捗状況		47.9					3	95.8%
指標2	運動習慣等調査中2女子の「運動が好きですか」の肯定的評価の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	79.2	80.5	82.0			85.0		
進捗状況		77.6					4	98.0%
指標3	運動習慣等調査中2女子の「運動が得意ですか」の肯定的評価の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	56.7	58.0	59.0			62.0		
進捗状況		55.8					4	98.4%
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1「体力向上ジャンプアップ」推進事業	
H27事業計画	H27事業成果
○「体力向上ジャンプアップ」の集約,印刷,配布	○「体力向上ジャンプアップ」を小・中学校毎に集約し,印刷後各校へ配布
当初予算額 40千円	決算額 0千円
構成事業2「体力向上・運動大好きプロジェクト」	
H27事業計画	H27事業成果
○子どもの体力向上指導者養成研修への派遣 ○伝達講習会の実施(小学校2回・幼稚園1回・中学校:県と共催1回) ○「学校体育のあしあと」作成	○子どもの体力向上指導者養成研修へ4名派遣 ○伝達講習会の実施(小学校2回,幼稚園1回,中学校は県と共催で1回実施) ○「学校体育のあしあと」のCD作成。市立学校全校へ配布
当初予算額 253千円	決算額 248千円
構成事業3「中学校部活動エキスパート・サポート事業」	
H27事業計画	H27事業成果
○運動部エキスパートとして50名以上を派遣 ○運動部サポーターとしてを40名以上派遣	○運動部活動における競技力及び体力の向上を図るため,運動部エキスパート50名,サポーター44名派遣
当初予算額 4,388千円	決算額 4,263千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,681 千円	H27	4,511 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	4,681 千円	合計	4,511 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○「体力向上ジャンプアップ」について、各学校から今年度の実施計画を集約し、校種毎に印刷製本し配付した。各校の実践の参考になっている。

○文部科学省の中央研修「子どもの体力向上指導者養成研修」に予定通り4名の教員を派遣した。6月に市立小学校を2つに分け伝達講習会を実施した。8月に市立幼稚園と市立中学校で伝達講習会を実施した。市立幼稚園教諭対象の実技講習会は、今年度3回目である。どの校種も真剣に研修に取り組んでいた。各学校、幼稚園で伝達講習を行うようお願いしている。

○中学校部活動エキスパート・サポート事業では、運動部エキスパートとして50名、運動部サポーターとして44名が学校に向いて指導や顧問の補助に当たった。エキスパートの指導実績は、のべ1,447回であった。一人平均の指導回数は28.9回となり、各校とも当該部活動が活性化され、体力向上の一助となっている。

●28年度の取組

○冬期間に各校種毎で、体力向上に関する喫緊の課題や学習の中で重視していく点について研修会を計画している。

○全国体力運動能力調査の結果や市小学校教育研究協議会体育部や市小学校教育研究協議会保健体育部の実践、小体連、中体連の報告、子どもの体力向上指導者養成研修等の報告を「学校体育のあしあと」としてCD-ROMにまとめ、市立学校に配付する。

○研修会等を実施する中で、エキスパート・サポーター事業の趣旨を徹底し、競技力及び体力の向上を図る。また、限られた予算の中で、エキスパートの必要性の高い学校に派遣できるよう、より効果的な運用を目指す。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	肥満傾向の児童生徒の割合 (%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	6.82	6.44	6.07	5.69	5.32	5.30	4	102.1%
進捗状況		6.68						
指標2	中学1年生一人平均う歯(むし歯)数(本)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	0.56	0.51	0.46	0.41	0.36	0.30	4	105.4%
進捗状況		0.53						
指標3	健康診断の確実な実施(回)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	2	2	2				4	100.0%
進捗状況		2						
指標4	研修会の実施(回)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	6	6	6				4	100.0%
進捗状況		6						
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 児童生徒の生活習慣病予防対策事業	
H27事業計画	H27事業成果
○パンフレットを作成し、健康教育に活用 ○小4, 中1の希望者に血液検査などの健診を実施	○5月にパンフレットを作成し、健康教育に活用 ○小4(1,018名), 中1(647名)の希望者に血液検査などの健診を実施
当初予算額 6,920 千円	決算額 6,914 千円
構成事業2 児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業	
H27事業計画	H27事業成果
○「むし歯予防教室」, 「歯肉炎予防教室」の開催 ○フッ化物洗口の実施	○「むし歯予防教室」, 「歯肉炎予防教室」の開催 ○フッ化物洗口の実施 (幼稚園11校全校実施済 100%・小学校110校中64校実施済 58.2%・中学校57校中8校実施済 14.0%)
当初予算額 12,337 千円	決算額 9,479 千円
構成事業3 各種健康診断事業	
H27事業計画	H27事業成果
○就学時健康診断 ○定期健康診断	○就学時健康診断の対象者6,575名中6,573名実施 ○定期健康診断の実施
当初予算額 203,716 千円	決算額 195,462 千円
構成事業4 健康教育に関する研修の充実	
H27事業計画	H27事業成果
○保健主事研修 ○養護教諭研修 ○保健の授業づくり ○性に関する教育研修会 ○学校におけるアレルギー疾患への対応研修会 ○学校保健研修会	○保健主事研修 ○養護教諭研修 ○保健の授業づくり ○性に関する教育研修会 ○学校におけるアレルギー疾患への対応研修会 ○学校保健研修会
当初予算額 1,091 千円	決算額 1,236 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	224,064 千円	H27	213,091 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	224,064 千円	合計	213,091 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、5月に生活習慣病予防パンフレットを小学校4年生及び中学校1年生の保護者に配布し、各学校で指導した。また、夏休み期間中には、小学校4年生と中学校1年生の希望者に対して、生活習慣病健診を実施し、小学校4年生1,018名、中学校1年生647名、計1,665名の受診があった。受診希望者が少ない学校には、助言指導を行うなどの働き掛けをすとも、マスコミを利用して広報活動を積極的に行った結果、受診率は12.7%と昨年度より1.2%増加した。

○児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、むし歯予防教室または歯肉炎予防教室を各学校で実施しました。実施校数は、小学校107校、中学校54校、中等教育学校1校、特別支援学校2校、幼稚園11校が実施し、昨年度とほぼ同じで計175校の実施があった。未実施校においては、保健給食課の事業を利用していないが、学校独自で、学校歯科医や歯科衛生士などと協力し、さらに力を入れた取り組みを行っており、新潟市全体でみても、歯科教育に関する意識の高さが窺える。

○フッ化物洗口においては、小学校13校が新規で実施することができ、小学校64校、中学校8校、幼稚園11校、計83校の実施となった。新規の実施においては、教職員説明会、保護者説明会、実施希望調査、フッ化物洗口練習と、段階を踏んで、丁寧に説明することで、フッ化物洗口に関する正しい知識を周知し、十分な理解を得たうえで進めることができていると考える。

○各種健康診断事業については、学校保健安全法に基づく定期健康診断及び精密検査を実施し、疾病の早期発見や児童生徒の健康管理や指導に努めた。また、小学校入学予定者に対しては、就学時健康診断を円滑に実施した。

○健康教育に関する研修の充実については、アレルギー疾患への対応、感染症、生活習慣病、喫煙や飲酒、薬物乱用、性に関する問題、いじめや不登校、虐待など、多岐にわたる健康課題の解決に向け、的確な対応、適切な指導を求められており、養護教諭の専門的な資質や技術向上のため、養護教諭研修、保健主事研修及び保健の授業づくりなど充実した研修を実施した。

●28年度の取組

○児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、健診対象者である小学校4年生と中学校1年生に対して、積極的な受診勧奨を行い、受診希望者の掘り起こしを行う。受診の結果、医療が必要な者には、受診勧告を行う。また、指導が必要な者には、各区の担当部署と連携し、健康相談への参加を促す。健診結果の集計データについては、学校に通知し、保健指導等に活用してもらい取り組みを引き続き行い、子どもの生活習慣病を早期に発見できるように進める。

○児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、むし歯予防教室または歯肉炎予防教室を各学校で行う巡回歯科指導を実施し、歯科衛生士の協力を得て、希望する学校に歯科衛生士を派遣する。

○フッ化物洗口については、平成28年度の新規実施校8校において、フッ化物洗口を開始するための準備を丁寧に進めていき、実施校の拡大に努める。これらの予防対策事業により、健康で丈夫な歯づくりを進め、う歯の有病者率を抑制していきたい。

○各種健康診断事業については、児童生徒の健康管理や疾病の早期発見に努めるとともに、定期健康診断及び精密検査の結果のデータを集計し、学校保健統計を作成することにより、保健指導に活用する。また、平成28年度から、検査項目の見直しにより、座高及び寄生虫卵の有無の検査がなくなり、運動器の機能に関わる検査、成長曲線・肥満度曲線の活用などが新たに加わった。これらの変更に対応できるように学校と連携する。

○健康教育に関する研修の充実については、多様化・複雑化する児童生徒の健康課題に的確に対応するため、性に関する教育研修会、学校におけるアレルギー疾患への対応研修会及び学校保健研修会などを開催し、養護教諭や学校保健関係者に広く呼びかけ、学校全体で取り組む必要性を認識してもらおう。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.6

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	児童生徒の朝食欠食率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	1.4	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	4	100.0%
進捗状況	1.4							
指標2	給食の残食量の減少(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	2.80	3.20	3.15	3.10	3.05	3.00	5	103.6%
進捗状況	2.70							
指標3	スクールランチ利用率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	68.7	68.7	68.7	69.2	69.6	70.0	4	100.9%
進捗状況	69.3							
指標4	地場農林水産物の使用率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	15.8	15.8	15.8	15.8	15.9	16.0	5	105.7%
進捗状況	16.7							
指標5	おはよう朝ごはん料理講習会実施か所数(か所)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	34	36	37	38	39	40	5	114.7%
進捗状況	39							
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1「食に関する指導」推進事業	
H27事業計画	H27事業成果
○食育指導者の派遣 ○食育ピア・エデュケーションの実施 ○「食に関する指導」研修会の開催、公開授業の実施 ○研究推進校の指定(4校, H27-28)	○食育指導者の派遣(17校, 延べ53回) ○「食に関する指導」研修会の開催(3回), 公開授業の実施(各学校) ○研究推進校の指定(4校, H27-28)
当初予算額 653 千円	決算額 507 千円
構成事業2「学校と家庭との連携強化事業	
H27事業計画	H27事業成果
○食育ミニフォーラムの開催(5月・11月) ○親子料理教室の実施(各学校) ○給食・学校だよりの発行(各学校) ○保護者対象の懇談会の開催	○食育ミニフォーラムの開催(5月・9月) ○親子料理教室の実施(各学校) ○給食・学校だよりの発行(各学校) ○保護者対象の懇談会の開催
当初予算額 142 千円	決算額 50 千円
構成事業3「スクールランチ運営事業	
H27事業計画	H27事業成果
○食育指導者派遣, 食育ピア・エデュケーションの実施 ○試食会の開催 ○リクエスト及び募集献立, 出前講座の実施 ○スクールランチ運営委員会・食育推進部会の開催	○食育指導者の派遣の実施 ○試食会, 説明会の開催(28回) ○リクエスト献立及び募集献立, 出前講座, スクールランチ運営委員会, 食育推進部会の開催
当初予算額 872 千円	決算額 363 千円
構成事業4「学校給食の充実事業	
H27事業計画	H27事業成果
○地産地消の推進 ○完全米飯給食の実施	○地産地消の推進(食材数ベース:市産16.7%) ○完全米飯給食の実施(週4.5以上)
当初予算額 0 千円	決算額 0 千円
構成事業5「家庭教育振興事業(おはよう朝ごはん料理講習会)	
H27事業計画	H27事業成果
○朝ごはん料理講習会の実施	○朝ごはん料理講習会の実施参加者1,029名
当初予算額 698 千円	決算額 686 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,365 千円	H27	1,606 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	2,365 千円	合計	1,606 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○「食に関する指導」推進事業については、食育指導者を派遣し、学校における食育の推進を図ることが出来た。食育ピア・エデュケーションについては、希望する学校が無かったことから実施していない。食に関する指導研修会については、5月に全ての校・園長及び給食センター長に対し行ったほか、8月には市内の全栄養職員を対象に講義を行い、食指導の充実を図った。研究推進校の指定については、今年度4校指定し、公開授業やお弁当の日を行うなど今後2年間に渡り食育研究を取組んでいくことにした。

○学校と家庭との連携・協力事業については、食育ミニフォーラムを5月に早通中学校、9月には西川中学校で開催し、食の大切さを学習するなど保護者や地域を巻き込んだかたちで食育効果を高めることが出来た。親子料理教室や給食だよりの発行は、各学校で行っており、保護者対象の懇談会や給食試食会を開催するなど家庭との連携を図った。

◎中学校スクールランチ運営事業については、食育指導者の派遣を17校53回行い、朝食の大切さ・スポーツ栄養・受験期の栄養についての講演会を行い、食の大切さについて考えてもらうことが出来た。また保護者を対象としたスクールランチの試食会を28校で行ったり、職員による出前講座を開催したりして、栄養バランスの整った給食や適切な栄養摂取について理解を深めてもらうことが出来た。スクールランチの運営改善を図るためスクールランチ運営委員会を2回、食育推進部会を1回開催し、残食の解消や利用率の向上や改善についての意見や提言をいただくことが出来た。

○学校給食の充実事業については、引き続き完全米飯給食を推進し、学校給食における「日本型の食事」を実践した。また、市内産の給食食材の使用率向上について農林水産部や各区役所と連携し地場産給食事業を各学校や給食センターで行っているほか、市場と連携し汎用性の高い馬鈴薯など市内産青果物の斡旋を各学校や給食センターに対し行い地産地消率の向上に取組んだ。また、特別企画として、水と土の芸術祭に因んだ「みずつつち給食」を外部有識者に考案してもらい提供することで、学校給食の充実を図った。

◎早寝早起き朝ごはん推進事業では、早寝早起き朝ごはん運動を推進し、学校や地域と連携・協力しながら、朝ごはん料理講習会を39か所で開催。アンケート結果では、朝ごはんの大切さを認識した、参加者で協力しあい楽しく調理できたといった声が多く寄せられ、基本的な生活習慣の形成や地域づくりに資することができている。

●28年度の取組

○「食に関する指導」推進事業については、引き続き学校の要請に応じて食育指導者を派遣し、学校における食育の推進を図っていく。食に関する指導研修会は、11月に各校の給食主任の先生を対象に行い、研究指定校のこれまでの取組の中間報告を行う。これにより各校の食育の取り組みに役立ててもらふこととする。

○学校と家庭との連携・協力事業については、引き続き給食便りや学校便りの発行や親子料理教室を通じて家庭との連携を図っていくほか、研究指定校において家庭との連携強化を図りやすい「お弁当の日」を実践していく。

◎中学校スクールランチ運営事業については、食育指導者の派遣や試食会を引き続き実施し、食の大切さについて理解を広めていく。また、食に対する関心を持ってもらうため「リクエスト献立」を11月、さらに生徒が献立を考える「募集献立」を2月に実施し、スクールランチのPRと利用促進を図る。また、スクールランチ運営委員会や食育推進部会を開催し、運営改善や給食指導の向上を更に図っていく。

○学校給食の充実事業については、引き続き完全米飯給食を推進し、学校給食における「日本型の食事」を実践する。市内産の給食食材の使用率向上について、引き続き農林水産部や各区役所と連携していくほか、今年度の7月から12月までの間は、地場産推奨献立の回数を通常月2回から3回に増やし地産地消の向上を図る。また、特別企画として、4月～5月にサミット給食、7月にオリンピック給食の提供し、サミットやオリンピックの調べ学習とも関連付けながら、給食についての興味関心を高めていけるようにする。

◎早寝早起き朝ごはん推進事業については、早寝早起き朝ごはん運動を推進し、学校や地域と連携・協力しながら、おはよう朝ごはん料理講習会をコミュニティ協議会等と協働で実施するほか、ホームページや広報紙等を通して普及啓発を図って行く。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.2

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	継続支援終了者(のべ人数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	12	22	32	42	52	62	5	225.0%
進捗状況		27						
指標2	若者支援者養成講座修了者(のべ人数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	71	101	101	131	131	161	5	184.5%
進捗状況		131						
指標3	中央育成活動回数(回)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	171	184	184	198	198	211	5	160.8%
進捗状況		275						
指標4	私の主張大会参加校(校数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	17	19	21	23	25	28	3	105.9%
進捗状況		18						
指標5	子ども向け体験活動事業参加者数(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	21,011	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	4	97.6%
進捗状況		20,516						
指標6	青少年の居場所設置か所数(か所)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	19	19	19	19	19	19	3	94.7%
進捗状況		18						
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 若者支援事業	
H27事業計画	H27事業成果
○若者支援センター事業 ・相談事業 ・若者の社会参加及び自立支援事業 ・居場所の運営	○相談事業は、105件中67件の課題整理をし、終結 ○居場所運営ではYA運営委員会と連携
当初予算額 7,411 千円	決算額 6,669 千円
構成事業2 非行防止対策事業	
H27事業計画	H27事業成果
○街頭育成活動 ○社会環境浄化活動 ○非行防止キャンペーン	○青少年育成員による声かけなどの巡回を275回実施 ○青少年を取り巻く社会環境の実態調査を関係団体等194名の協力を得て実施 ○街頭で関係団体等83名による万引防止の啓発を実施
当初予算額 5,009 千円	決算額 4,175 千円
構成事業3 青少年健全育成事業	
H27事業計画	H27事業成果
○青少年関係団体の育成及び活動への支援 ○わたしの主張大会開催 ○青少年健全育成講演会の実施	○青少年健全育成講演会の開催(参加者491名) ○わたしの主張大会開催(市内18校から1,701名の応募)
当初予算額 4,466 千円	決算額 4,430 千円
構成事業4 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
○集団活動・体験活動事業等の実施 ○ジュニアリーダー講座の実施	○子ども向け各種体験事業・ジュニアリーダー講座など287講座を実施
当初予算額 3,919 千円	決算額 3,135 千円
構成事業5 青少年の居場所づくり事業	
H27事業計画	H27事業成果
○公民館の一室またはスペースを「子どもの居場所」として開放 ○「居場所」を支えるスタッフの研修・交流	○青少年の居場所づくり 18館実施 ○長期休業中などの学習室の開放 ○ボランティアスタッフの研修・交流
当初予算額 438 千円	決算額 417 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	21,243 千円	H27	18,826 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	21,243 千円	合計	18,826 千円

注: 再掲事業分を含む

● 27年度の取組に対する評価

○若者支援センターについては、相談の実人数は横ばいだが、面談数は増えている。105件中87件がリファーマ(適切な専門機関に紹介)・終結となり、面談における課題整理は順調に進んだ。支援中10件、中断8件となっている。前年度からの支援継続件数が累積されてくることで面談総数が増えている。社会参加活動、就職活動に入れない居場所に留まる若者をどう動機付けていくか課題が残った。

○若者自身の自己理解を深めるために、ナビゲーションブックの試作品作成に向けて、実務代表者会議を開催した。

○利用者の中に様々な特性を持つ若者が増えてきたので、ユースアドバイザー運営委員会と連携して、精神疾患・発達障がい等の特性について、医師、大学教授から特性について対応を学んだ。

○青少年の非行の未然防止を図るために、青少年育成員による中心部の街頭育成活動を年間275回に拡充し、青少年への声かけを1,294回行った。育成回数を増やすことにより、各店舗との顔の見える信頼関係を築くことができ、巡回していない時間帯のきめ細やかな情報も収集することができた。

○学校が休みになる土日や夏休み期間を中心に、ものづくりなどの体験活動や家庭ではできない集団活動、キャンプなどの野外活動などを実施し、子どもたちの健全育成を図ると同時に、子どもたちの仲間づくりを推進した。

○中央区の中学校でジュニアリーダー育成講座を開催し、コミュニケーションスキルや協力しあう難しさと大切さを学ぶ機会となった。

◎18か所の公民館で「子どもの居場所」を開設し、安心して自由に過ごすことのできる場所を提供した。多くの公民館で遊びや勉強をして過ごす子どもたちの姿が見受けられリピーターも多い。

● 28年度の取組

○若者支援センター「オール」では、継続支援者や協働支援者(支援主体である他の機関から、自尊感情の回復、自己理解、コミュニケーションの課題について「オール」で支援をすることを依頼された者)との面談で、居場所支援につながる情報を引き出す。また、若者語り場「じょぶとーく」など就職活動を動機付ける事業を開催したり、サボステと連携してジョブカフェなど就労体験に参加することを勧めていく。

○新潟市若者ナビゲーションブックの活用を図り、若者の自己理解を深めることができるよう支援する。

○若者支援者の拡充と資質向上を図るために、若者支援者養成講座を実施する。

○青少年育成員の拡充と育成活動の周知を図るために、1日育成員の日を13回実施する。

○自然体験や生活体験が希薄な子どもたちに、土日や長期休みの期間に体験活動事業を実施し、地域の大人や異なる学年の子供たちと交流することで、子供たちの豊かな心を育み、仲間づくりをすすめる。

◎子どもたちに、公民館で学校や家庭以外の安全な居場所を提供するとともに、子どもたちと触れ合い、見守るボランティアの養成を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	5,081	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5	131.1%
進捗状況		6,663						
指標2							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標3							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標4							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標5							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標6							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標7							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標8							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 伝統文化の体験学習	
H27事業計画	H27事業成果
○地域の文化や伝統, 守るべき自然などを体験	○子ども大凧合戦・漆器の絵付け体験・囲碁、将棋教室など103講座の実施
当初予算額 1,725 千円	決算額 1,678 千円
構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,725 千円	H27	1,678 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	1,725 千円	合計	1,678 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○新潟漆器の絵付けや、南区の大凧合戦、巻の鯛車づくりなど、地域の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統・文化の素晴らしさや継承することの大切さを知ってもらう機会とした。

●28年度の取組

○引き続き、地域や日本の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統・文化の素晴らしさや継承することの大切さを理解してもらう。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.0

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)

※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	74.5	75.0	75.0				4	99.1%
進捗状況		73.8						
指標2	新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	56.0	56.5	56.5				4	97.5%
進捗状況		54.6						
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 外国語指導助手(ALT)配置事業	
H27事業計画	H27事業成果
○市立全小・中・高・中等教育学校へのALTの配置	○市立全小・中・高・中等教育学校へALT(外国語指導助手)を配置 ○ALTの資質向上に向け定例研修会を実施
当初予算額 49,414 千円	決算額 70,551 千円
構成事業2 国際交流推進事業	
H27事業計画	H27事業成果
○受入:ロシア ハバロフスク市・ピロビジャン市児童生徒25名・引率者5名 ○派遣:中国ハルビン市 韓国ウルサン広域市 各児童生徒10名・引率者3名	○ロシア ハバロフスク市・ピロビジャン市から児童生徒26名・引率4名を受入 ○中国ハルビン市・韓国ウルサン広域市へ20名引率者5名派遣
当初予算額 2,298 千円	決算額 2,185 千円
構成事業3 外国語教育支援事業【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○校内研修の促進・支援 ○外国語教育マネジメント研修の実施	○校内研修の促進・支援を実施 ○外国語教育マネジメント研修を開催
当初予算額 0 千円	決算額 0 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	51,712 千円	H27	72,736 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	51,712 千円	合計	72,736 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○全校にALTを配置し、外国語活動・外国語の授業の充実を図った。また、ALTへの定例研修会9回、指導力向上研修会2回、夏期イングリッシュセミナー2日間を開催し、授業力向上に努めた。

○国際交流では、7月21日～25日にロシア連邦のハバロフスク市とビロビジャン市から30名の青少年使節団を受け入れた。国際子どもフォーラム、学校訪問やホームステイ等の交流を通して、本市児童生徒のロシアに対する理解が深まった。

○児童生徒の派遣では、8月5日～9日に中国のハルビン市に10名、10月17日～21日に韓国ウルサン広域市に10名の児童生徒を派遣した。派遣児童生徒は帰国後に中国や韓国の文化や習慣について各校で報告会を開き、派遣の成果を広めた。

○外国語教育推進リーダー研修を5月から8月にかけて実施した。研修受講者は、研修の成果を生かして各校の校内研修を推進している。また、地区で開催された研修会の講師にもなり、教員の英語力及び英語指導力の向上に貢献した。

●28年度の取組

○ALT研修会やTT指導の授業参観を行い、ALTの資質向上を目指す。

○8月2日～9日にロシアに16名の児童生徒を派遣する。派遣の報告文集を作成して全校に配付し、理解を深める。

○7月13日～17日に中国ハルビン市から10名、10月13日～17日に韓国ウルサン広域市から10名の青少年使節団を受け入れる。また、学校訪問や国際子どもフォーラムを開催する。

○文部科学省より教科調査官を招聘し、外国語教育マネジメント研修を実施予定(12月)

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
3.7

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	65.7	66.6	66.6				70.0	
進捗状況		60.3					3	91.8%
指標2	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	50.0	51.0	51.0				55.0	
進捗状況		50.0					4	100.0%
指標3	「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0					
進捗状況		95.0					4	95.0%
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1		タブレット等ICT活用研修(教職員研修)【新規】	
H27事業計画		H27事業成果	
○ICT機器を授業で活用するための研修 ○教職員の指導スキルの向上研修 ○教材の更新		○ICT機器を授業で活用するための研修の実施 ○ICTを活用した教育推進のための資料配付 ○教材の更新の実施	
当初予算額	0千円	決算額	0千円
構成事業2		「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進(再掲)【新規】	
H27事業計画		H27事業成果	
○年間2回実施される研究主任研修会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での具体的支援		○アクティブラーニングの理解を深めるため, 著名講師を招聘し, 研修会を実施 ○アクティブ・ラーニング実施を支援するため, 学校訪問で実態に応じた指導・助言を実施	
当初予算額	0千円	決算額	0千円
構成事業3			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0千円	H27	0千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	0千円	合計	0千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○教職員を対象にタブレット等ICT活用研修を開催した。その結果、教材提示装置で子どものノートなどを大画面TVに映して指導したり、スクールプレゼンターやデジタル教科書教材を使って算数の図形指導をしたりするなどの、ICTの積極的な活用が見られるようになってきた。

○学校訪問を通じて「アクティブ・ラーニング」による学びの質や深まりを重視する授業を推進するよう働き掛けてきた。その結果、教職員一人一人に「アクティブ・ラーニング」を進めることで社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができるという意識を高めることができた。

●28年度の取組

○タブレット等ICT活用研修については、今後も総合教育センターで行う。また、12月にはコンピュータ更新校を対象にICT活用研修を開催する。

○新たに配付した「新潟市の授業づくり」リーフレットを活用し、計画訪問を中心に、アクティブ・ラーニングについて具体例を示して、指導していく。また、すでにアクティブ・ラーニングを実践している学校の授業を映像で紹介しながら普及に努める。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.3

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)

※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	50.0	60.0			100.0	4	
進捗状況		50.0						
指標2	教育委員会から、各校に向けて環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	1	1				4	
進捗状況		1						
指標3	環境教育事業の実施						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	実施	実施					
進捗状況		実施						
指標4	太陽光発電及び蓄電池設備の設置校(累計)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	7	11	16	17	17	17	5	171.4%
進捗状況		12						
指標5	停電時、非常電源としての実地体験(回)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	5	5	5	5	5	4	
進捗状況		5						
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業(再掲)【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な開発のための教育の啓発 ○学校訪問を通じた指導・助言 	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な開発のための教育(ESD)の啓発を広報により実施 ○教頭会で、ESD研修会を実施
当初予算額 300千円	決算額 0千円
構成事業2 環境学習の充実	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習への支援 ○環境学習発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業を指定9校において実施
当初予算額 1,200千円	決算額 1,190千円
構成事業3 環境教育事業	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○子ども向け環境教育事業、親子向け環境教育事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども環境学習・河川等のクリーンアップ・里山の自然環境学習などのべ1,437人が参加
当初予算額 385千円	決算額 351千円
構成事業4 学校施設エコスクール化推進事業	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○1校多く5校で整備(蓄電池のみ付加含む。) ○4校で実施設計 ○5校で施設の実地体験実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○1校多く5校で整備(蓄電池のみ付加含む。) ○4校で実施設計 ○5校で施設の実地体験実施
当初予算額 113,936千円	決算額 93,858千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115,821 千円	H27	95,399 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	115,821 千円	合計	95,399 千円

注: 再掲事業分を含む

● 27年度の取組に対する評価

○指導主事による学校訪問を通じて「アクティブ・ラーニング」による学びの質や深まりを重視する授業を推進するよう一年を通じて働き掛けてきた。その結果、教職員一人一人に、「アクティブ・ラーニング」を進めることで社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができるという意識を高めることができた。ESD(持続可能な開発のための教育)の概念は、広報誌「サポート」で説明することで理解を得るようにした。

○環境教育の一層の推進を図るため、小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、小学校8校(白山小, 早通小, 豊栄南小, 山の下小, 升潟小, 赤塚小, 沼垂小, 和納小)が事業推進した。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(豊栄南小, 升潟小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。その結果、各学校で身近な環境と水俣病との関連に気付き、環境問題を自分たちの問題としてとらえる子どもたちの意識が高まった。

○「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」に9校指定し、緑豊かな環境の中で、自然とかかわり合う体験をととして学ぶことができた。

◎小中学生を対象にした自然体験教室や地域住民に向けた身近な環境を考える講座を実施し、自然や環境について考える機会を提供し、地元の自然の素晴らしさを実感することができた。

○環境負荷への低減、自然との共生及び非常時の最低限必要なエネルギーの確保など、持続可能な環境教育の実施教材として太陽光発電及び蓄電池設備の設置について、予定通り実施した。また、各学校・園の環境教育の充実に向けた支援として、既に設置されている5校で実地体験研修を実施し、学習活動への活用を啓発した。また、地域の防災訓練時での非常電源利用として、資料配布による周知を図った。

● 28年度の取組

○授業づくりリーフレットを発行し、学校訪問等を通じて、「アクティブ・ラーニング」による学びの質や深まりを重視する授業を推進するよう働き掛けていく。また、広報等を活用することでESD(持続可能な開発のための教育)の概念の理解をさらに広めていく。

○小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の追加募集を行い、さらに事業実践校を増やしていく。

○「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の募集を行う。

◎引き続き、地域団体や学校と連携した環境事業を実施することにより、身近な環境を考える機会を提供する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成 (達成率105%以上(95%未満))
- 4: 指標を概ね達成 (達成率95%以上105%未満(同左))
- 3: 指標をもう少しで達成 (達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満))
- 2: 指標を下回った (達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満))
- 1: 指標を大きく下回った (達成率75%未満(125%以上))

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	87.5	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	4	93.5%
進捗状況	81.8							

指標2							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1	日本語指導協力者派遣事業 外国人児童生徒への支援体制の整備【新規】	
	H27事業計画	H27事業成果
	○日本語指導協力者の派遣 ○母語が分かる支援者の派遣 ○協力者連絡会、研修会の実施	○日本語指導協力者を、のべ489回派遣 ○母語が分かる支援員を、のべ15回派遣 ○日本語指導協力者連絡会、研修会を2回実施
当初予算額	1,429 千円	決算額 2,042 千円

構成事業2	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

構成事業3	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

構成事業4	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

構成事業5	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

構成事業6	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,429 千円	H27	2,042 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	1,429 千円	合計	2,042 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○各学校から要請のあった対象児童生徒31名(24か校)に対して、のべ24名の日本語指導協力者を派遣した。派遣回数は、児童生徒の日本語能力の実態に応じて15回～26回(1回2時間)であった。本年度は、日本語指導協力者の派遣に加えて、母語が分かる支援員の派遣も行った。日本語指導協力者、母語が分かる支援員の指導により、日本語の上達だけでなく、対象児童生徒の生活が落ち着き、学校生活にスムーズに適応できるようになってきた。

●28年度の取組

○今後も、日本語指導の新規要請があった場合は速やかに対処していく。

○NPOや関係諸機関との連携を図り、協力者派遣が終了した児童生徒のうち、さらに支援が必要な場合に支援が継続できるような体制づくりを進める。

○年度始め、年度末に日本語指導担当者会を開催する。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	1,200	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	5	134.7%
進捗状況	1,616							

指標2	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1		インクルーシブ教育システム構築の推進事業【新規】	
H27事業計画		H27事業成果	
○管理職研修, 幼稚園教員研修, 合理的配慮セミナーを3講座開催		○管理職研修及1回、合理的配慮セミナー3回の開催	
○通級指導教室を増設		○特別支援学級23学級及び通級指導1教室の新增設	
○必要に応じて介助員及び学校看護師を配置		○基準に応じた介助員配置、児童生徒の実態に応じた加配介助員の配置	
当初予算額	324,598 千円	決算額	456,801 千円
構成事業2		H27事業計画	
		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3		H27事業計画	
		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4		H27事業計画	
		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5		H27事業計画	
		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6		H27事業計画	
		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	324,598 千円	H27	456,801 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	324,598 千円	合 計	456,801 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○特別支援教育に関する教育研修は、計画どおりに実施した。「特別支援教育管理職研修」では、インクルーシブ教育システムの構築や差別解消に係る新潟市条例の内容等について市立学校長全員を対象に研修を実施した。また、今年度から開始した「合理的配慮セミナー」では、コーディネーターや教頭を対象した研修を、年間を通して実施した。外部講師を招聘しての最先端の内容を企画したことで、どの研修においてもアンケート結果では、「意義があった」「インクルーシブ教育システムの内容がよくわかった。」などの感想が多く寄せられた。

○市立特別支援学校に在籍する児童生徒の居住地校交流では、16名の児童生徒が計27回の交流を行った。

○本年度は、小学校2校、中学校1校、特別支援学校1校に医療的ケアを必要とする児童生徒のための看護師を配置するとともに、発達障がいのある通級指導教室9教室にSSCを配置した。また、年度当初に介助員を、前年度より38名増の308名、小・中学校に配置した。

●28年度の取組

○平成28年度は、差別解消法、新潟市条例の実施の年である。27年度に研修した内容を各校でどのように具現化していくかが問われる。各校での実践例を共有し合い、より各校の実情に合った合理的配慮の提供の推進を進めていく。

また、不当な取扱い、合理的配慮の不提供について、基幹相談センターに寄せられた訴え等を共有し、学校でそのようなことが再び起きないように、意識を高めていく。

○文部科学省の特別支援教育校内支援体制調査の実施と関連させ、校内委員会の実施状況や個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成実施状況を把握する。特に個別的教育支援計画の作成率については、校長会等で働きかけをして小学校、中学校とも数値を高めたい。

○特別支援学級及び通級指導教室の新設・増設に向けて、在籍希望などを調査し、県教委と協議しながら進める。

○介助員の配置は、基準を見直して上で、新たな取組として、必要な時期に必要な子どもに教育的配慮を行う「特別支援サポーター」と「クラスサポーター」を開始した。この取組を充実させ、学校の課題解決力を高めていきたい。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	合理的配慮のデータベース件数(累計)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	30	45	60	75	90	100	5	163.3%
進捗状況		49						
指標2							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 特別支援教育サポートネットワーク事業	
H27事業計画	H27事業成果
○発達障がいサポート事業協力校の指定と授業実践, 成果合同発表会を開催 ○特別支援教育ボランティアの募集と配置	○発達障がいサポート事業協力校による合同発表会を開催し, 小・中学校, 高等学校から40名を超える参加 ○年間で194件の特別支援教育ボランティアの登録
当初予算額 8,320 千円	決算額 10,578 千円
構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	8,320 千円	H27	10,578 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	8,320 千円	合計	10,578 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○特別支援教育サポートセンターを核として、小中学校、保護者の相談支援に当たってきた。27年度の実績は、以下のとおりである。

- ・学校からの支援依頼による訪問支援 529件、来所支援 10件
- ・保護者支援 396件
- ・電話相談 73件

○特別支援教育サポートセンター、区教育支援センター、地区特別支援教育コーディネーター(発達通級指導教室担当者)を核として、サポートネットワークを構築し多様な視点から、小・中学校の支援に努めた。特に、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対して、個別の指導計画の作成・活用を通じて、課題と支援の方向、具体策を明らかにし、きめ細かい支援を継続して行った。

○東特別支援学校において、夏季休業中に、新潟こころの発達クリニックの 田村 立 医師を講師とし、「医療ができること、教育に望むこと～発達障がい児の理解と対応～」を演題に公開講座を行った。市内小・中学校教諭145名が参加し、発達障がいについて、医療の視点から研修を行った。

○西特別支援学校においては、新潟大学 有村 宏幸 准教授を講師として校内研修会と地域研修会を合同で行い、事例検討、情報交換を行った。

○発達障がいサポート事業においては、協力校の小学校4校を指定し、学習障害の児童に対する指導と学習障害の移動が在籍する学級に対しての支援について9月以降の研修計画を作成した。さらに、年度末、事業協力校による合同発表会を開催し、小・中学校、高等学校から40名を超える参加があった。

○合理的配慮データベースの整備については、各校の特別支援学級等の状況調査を基に配慮や支援などの現状を整理した。

○特別支援教育ボランティアシステムについては、ホームページやチラシなどをおして募集を行い、申し込みのあった方から各学校とのマッチングを行い、活動を始めた。

●28年度の取組

○今後も特別支援教育サポートセンター、区教育支援センター、地区特別支援教育コーディネーター(発達通級指導教室担当者)を核として、サポートネットワークの充実に図り、小・中学校への支援を継続して行う。

○合理的配慮データベースの整備については、アンケートで各校が行った実践例を聞き取り、情報の収集を継続して行う。

○特別支援教育ボランティアシステムについては、募集・マッチング・活動を継続して行う。また、ボランティアの活用方法に関する情報を収集する。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	250	300	350				5	132.4%
進捗状況		331						
指標2								
指標3								
指標4								
指標5								
指標6								
指標7								
指標8								

●施策を構成する事業

構成事業1 早期からの就学支援の推進【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○年間を通じた保護者相談の実施 ○幼稚園・保育園等と連携した「入学支援ファイル」の作成とスムーズな就学支援の実施	○区教育支援センターの担当指導主事が年間を通じた相談対応を実施 ○幼稚園・保育園との情報共有のための「入学支援ファイル」の作成
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0千円	H27	千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	0千円	合計	0千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○各区の教育支援センターに就学支援教育担当指導主事を配置し、就学相談の窓口としており、日常的に来所相談や電話での相談に対応している。また、随時幼稚園・保育園を訪問し、就学児の様子について情報を共有できるよう連携している。サポートセンターにおいても、来所・電話相談に対応した。

○28年度就学予定児を対象にした就学相談ガイダンスを各区ごと5月に実施した。また、児童発達支援センター「こころん」と連携し、ガイダンスや訪問も行った。約300名の参加希望があった「夏季就学相談会」は、特別支援教育コーディネーター等の協力を得て、区ごとに7月下旬から8月上旬にかけて実施した。

○就学前の保護者・幼児教育・保育・療育・相談機関からの願いと支援情報を学校に引き継ぐための連携ツールである「入学支援ファイル」について、相談に来られた保護者に説明し、配付した。

○小学校新入学生の「入学支援ファイル」の活用状況を今年度はじめて調査した。「入学支援ファイル」の提出数は331名であり、新入学生の5%の提出である。特に、特別支援学級在籍数の割合は、93.7%であった。また、提出児童の個別指導計画等の作成の割合は、87.9%であった。

○特別支援管理職研修及び幼稚園教員研修において、「入学支援ファイル」の目的や活用について説明し、就学支援についての連携を促した。

●28年度の取組

○管理職及び特別支援教育コーディネーターを対象にした「合理的配慮セミナー」研修において、「入学支援ファイル」を活用した個別の支援計画作成に向けた働きかけを行う。

○発達支援コーディネーター研修において、幼稚園や保育園のコーディネーターに「入学支援ファイル」の目的や活用について説明し、就学前の施設との連携をすすめる。

○「入学支援ファイル」をもとに保護者の意向を把握しながら、就学児の学びの場を決定していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	小中一貫教育推進協議会						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	発足	3					
進捗状況		発足						
指標2	新規パイロット事業実施中学校数(延べ数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	-	4	8	12	16		
進捗状況		-						
指標3	学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	56	56			56	4	
進捗状況		55						
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 小中一貫教育パイロット事業【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○一貫教育検討会の立ち上げ ○「小中一貫教育部会」「幼・保・小連携部会」の設置 ○パイロット中学校区の指定(4中学校区)	○一貫教育推進協議会を8月に立ち上げ、27年度内に3日の協議会を実施 ○小中一貫教育部会2回、幼・保・小連携部会1回実施
当初予算額 114 千円	決算額 128 千円
構成事業2 学校間連携推進事業	
H27事業計画	H27事業成果
○児童生徒の学習に関する情報交換 ○中学校区単位の授業・諸活動の交流事業推進	○各中学校区において、児童生徒の学習及び生活の状況について計画的に情報交換を実施 ○学習活動や地域貢献活動などを小中合同で実施する中学校区が増加
当初予算額 0 千円	決算額 0 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	114 千円	H27	128 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	114 千円	合計	128 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○8月28日に第1回一貫教育推進協議会を開催した。この場において、新潟市が目指す「小中一貫教育」「幼・保・小連携」の方向が確認され、それぞれの詳細について検討する部会を設置することが決まった。その後、平成27年度中に合計3回の協議会を開催した。

○この会には、市立の幼稚園、小学校、中学校の校長園会からだけでなく、私立保育園を含む新潟市保育会、私立幼稚園協会・認定子ども園協会の代表からの参加があり、小中の一貫教育のみならず、新潟市のすべての子どもたちに対し、民間を含めて就学前から義務教育終了までの一貫した教育への取組を進める体制の基礎ができた。

○一貫教育推進協議会において、平成28年度における小中一貫教育パイロット校として4中学校区を指定した。
・新潟柳都中学校区・両川中学校区・味方中学校区・潟東中学校区

○小中一貫教育部会を2回開催し、各中学校区における平成28年度の実践研究内容を確認した。他校の取組みを参考に、実施に向けた各校での見直しができるようになった。

○幼・保・小連携部会を1回開催し、その場において接続カリキュラム作りに向けた現状と課題を共有した。カリキュラムのほか、接続期において、幼稚園や保育園と小学校間での情報伝達に課題があることが明らかになり、次年度の取組み内容がさらに明確になった。

○全ての中学校区において小中連携推進のための連絡協議会等を開催し、共通の課題などについて協議して連携を深めてきた。中には、一部教科等の小中9年間を通した指導内容・方法の検討を始めるなど、「小中一貫教育」の実施を意識した共通の取組を始めた中学校区も見られるようになってきている。

●28年度の取組

○今年度は、3回の推進協議会を予定しており、一貫教育の進行管理及び平成29年度の小中一貫パイロット中学校区及び幼・保・小連携モデル園・モデル校を指定する。
・パイロット校においては、9年間を見通した教育課程の研究や地域・保護者を含めた一貫教育推進委員会の設立、小中合同研修会の実施などの共通プログラムの研究に取り組む。

○小中一貫教育部会では、各中学校区の取組み内容を共有化するとともに、独自プログラム研究の準備を行う予定。

○幼・保・小連携部会では、接続カリキュラムの作成に着手するとともに、接続期における課題の解決について協議する予定。

○校長会等の機会を通じて取組の進んでいる中学校区の実例を紹介するなどして、更なる推進を働きかけていく。

●推進委員からの意見・要望等

○小中一貫教育、幼・保・小連携の動きが確実に進んでいることは大変よいことだ。これらを推進する機関である一貫教育推進協議会に、社会教育の行政職員が参加することも検討いただきたい。
⇒平成28年度はすでに推進協議会がスタートしているので、次年度の課題として検討したい。

○施策名の中の「新潟市にふさわしい」という語句についての具体的説明をお願いしたい。
⇒政令市という大きな市になったことにより、本市は、都市部からの農村部まで、様々な地域の特色を内在するようになった。また、中学校区内の小中学校の配置状況も、1小1中から最大4小1中までの組み合わせがあり、それぞれの中学校区に特徴がある。「新潟市にふさわしい」とは、「これらの多様な特色や特徴を活かす」という意味である。

●H27施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	10.0	95.0			100.0	5	
進捗状況		90.0						
指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	10.0	40.0			70.0	5	
進捗状況		30.0						
指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	27.3	90.0			100.0	5	
進捗状況		81.2						
指標4	隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	18.1	63.6			90.9	5	
進捗状況		54.5						
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1	幼保小連携推進事業【新規】	
	H27事業計画	H27事業成果
	○幼・保との連携の充実と小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会の実施 ○幼・保と小学校の接続を見通した指導計画の作成	○幼・保との連携の充実と小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会の実施 ○幼・保と小学校の接続を見通した指導計画の作成
	当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2	幼保小合同研修会【新規】	
	H27事業計画	H27事業成果
	○幼稚園教育研究会の開催 ○幼稚園教員研修会の開催 ○幼・保・小連絡協議会の開催	○幼稚園教育研究会の実施 ○幼稚園教員研修会の実施 ○幼・保・小連絡協議会の実施 ○幼保小合同研修会の実施
	当初予算額 42千円	決算額 72千円
構成事業3		
	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4		
	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5		
	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6		
	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	42 千円	H27	72 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	42 千円	合計	72 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○幼・保・小の連携を深めるための教育懇談会の開催に向けて準備を進めている。これまでに、小学校長会および幼・保園長会で研修を行い、取組の趣旨理解を図った。

○6月9日に新潟市幼稚園教育研究会を開催し、幼・小の円滑な接続、連携のあり方について研修を行った。アンケートの結果、多くの参加者が今後の取組に生かしたいと答えており、保育実践に生かしている。

○8月14日に新潟市立幼稚園研修会を開催し、市立幼稚園教員をはじめ、私立幼稚園教員、市立保育園職員、小学校教員等が参加し、特別支援教育を窓口にした幼小接続の連携のあり方等について研修を行った。連携推進に向けた関係者の意識を高めることができた。

○1月21日、牡丹山幼稚園において幼保小合同研修会を開催し、全学級による公開保育を行った。小中学校教職員94名、公立幼稚園14名、私立幼稚園12名、公・私立保育園9名、計129名が参加し、幼保小連携・接続のあり方や接続カリキュラムの編成についての現状と課題について協議した。

●28年度の取組

○幼・保の連携の在り方や小学校との接続の在り方について、さらに検討を続けて基本方針を立案し、その趣旨に即した「教育懇談会の開催」と「指導計画の作成」を目指す。

○「新潟市共通接続カリキュラム」の編成に向け、公私立幼保と小学校が連携した検討委員会を設け、編成に向けた具体的なスケジュールを作成し、実行する。

○幼保小による合同研修会を8月に1回、10月に1回開催し、幼児教育に関わる教職員の資質・能力の向上を図る。

●推進委員からの意見・要望等

○指標1、指標2は共に、進捗状況評価が5.0となっており、幼・保の連携や小学校との円滑な接続を目指した取組の成果があがっているように見える。ただし、もともと両指標の目標数値がかなり低かったからこのような高い評価になったともいえる。平成27年度の指標の目標数値設定について、もう少し説明を聞きたい。

⇒両指標とも前年度にはない新しい指標であったので、目標数値を設定した時点では情報がなく、低めの設定となった。しかし、結果は、かなりのよい数値となった。これらの指標は、毎年、前年度の実績を踏まえながら、次年度の目標数値を設定していく種類なので、平成28年度以降は、より正しい実態を踏まえた指標目標数値の設定をしていきたい。

●H27施策評価

3期進捗平均
3.8

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	外部講師による人権教育、同和教育に関する校内研修を実施した学校数(校:累計)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	61	85	110	135	160	185	3	121.3%
進捗状況	74							
指標2	小学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	96.0	100.0	100.0			100.0	4	102.3%
進捗状況	98.2							
指標3	中学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	85.0	90.0	90.0			100.0	3	99.1%
進捗状況	84.2							
指標4	公民館の人権教育事業の参加者数(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	3,341	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	4	94.2%
進捗状況	3,148							
指標5	人権教育研修会の参加者満足度(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	71.5	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	5	132.9%
進捗状況	95.0							
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 人権教育、同和教育の推進	
H27事業計画	H27事業成果
○人権教育、同和教育に関する研修会、外部講師派遣事業による支援の実施	○外部講師派遣事業による校内研修を30校、学校支援課指導主事によるものを32校、新発田隣保館現地学習によるものを12校実施
当初予算額 540 千円	決算額 264 千円
構成事業2 男女平等教育の推進	
H27事業計画	H27事業成果
○男女平等教育推進研究会の開催 ○児童生徒用男女平等教育学習資料の作成と配付 ○教員対象 男女平等教育に関する研修会の開催	○男女平等教育推進研究会を2回開催 ○児童生徒用男女平等教育学習資料を作成し、各校配付 ○教員対象、男女平等教育に関する研修会を1回実施
当初予算額 523 千円	決算額 327 千円
構成事業3 公民館の人権教育	
H27事業計画	H27事業成果
○女性セミナー ○人権に関する講座 ○国際理解講座	○女性セミナー ○人権に関する講座 ○国際理解講座 ○家庭教育学級における人権事業
当初予算額 799 千円	決算額 738 千円
構成事業4 新潟市人権教育研修会	
H27事業計画	H27事業成果
○人権教育研修会の開催(1回)	○人権教育研修会の開催(1回)
当初予算額 83 千円	決算額 15 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,945 千円	H27	1,344 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	1,945 千円	合計	1,344 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○管理職への人権教育, 同和教育研修として, 新潟市同和教育研究協議会総会への参加, 生涯学習センター主催の研修会, 新潟県同和教育研究協議会研究集会に悉皆研修での参加を実施し, 校内で教職員が差別の現実を正しく認識し子どもへの教育を推進することへの指導に効果があった。

○外部講師派遣事業を活用した研修, 新発田隣保館での現地研修は, 夏季休業中を中心に各中学校区で実施され, 人権問題, 同和教育問題への理解と認識を深めることができた。

○市内の小学校3年生・6年生, 中学校2年生に男女平等教育学習資料を配付して活用を促し, 男女平等教育が各学校で推進された。(活用した小学校98.2%, 中学校84.2%)

○男女平等教育推進研究会を開催し, 学校における男女平等教育の推進について協議した。この研究会を通して, 男女平等教育推進のための在り方を深めることができた。

○公民館では, 男女共同参画社会を考える女性セミナーや家庭教育学級において発達障がいテーマにした講座を実施し, 人権意識の啓発を図った。

○人権教育研修会(新潟敬和学園大学 藤野豊教授による講演『部落問題から見た差別の連鎖』)を開催し, 312名の参加があった。この研修会を通して, 同和教育, 同和教育問題に対する理解と知識を深めることができた。

●28年度の取組

○人権教育, 同和教育担当者研修会を計画的に開催する。

○全人教長野大会等での研修成果を今後各校への研修に生かす。

○12月15日に教員を対象とした男女平等教育に関する研修会を開催する。

○公民館では女性や子ども, 障がい者等の人権について考える講座・講演会を実施し, 市民に人権意識の啓発を進める。

○市の職員や学校教職員等を対象に人権や同和教育への理解と認識を深めるための研修会を開催する。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	世代間交流事業の参観者数(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	22,459	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	5	105.3%
進捗状況		23,654						
指標2							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1	地区別世代間交流事業	
	H27事業計画	H27事業成果
	○地域で実施しているイベントやスポーツ大会を通じて、世代間の交流が進むよう支援	○ウオーキングや音楽祭などのイベントやスポーツ大会を通じて、地域の世代間の交流事業を実施
当初予算額	861 千円	決算額 1,049 千円
構成事業2	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	861 千円	H27	1,049 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	861 千円	合計	1,049 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

◎地域団体等と連携しながら、スポーツや伝統芸能活動を通し、様々な世代が交流する事業を実施した。(南浜公民館:地域から広げる虹の架け橋国際交流,石山地区公民館:すご堀桜並木ウォーキング,曾野木地区公民館:まなびやサロン曾野木,白根地区公民館:狸の婿入り行列など)

●28年度の取組

◎各地域で特色のある世代間交流事業や外国人との交流事業を実施し、地域住民の交流促進と相互理解を図る。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	4	104.8%
進捗状況	94.5							
指標2	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	24.5	26.3	26.3	28.0	28.0	29.8	3	100.0%
進捗状況	24.5							
指標3	家庭教育学級数(講座)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	63	63	64	64	65	65	5	112.7%
進捗状況	71							
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 家庭教育振興事業	
H27事業計画	H27事業成果
○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習出前講座の実施(小・中学校) ○乳幼児期等家庭教育学級及びプレママ学級の実施 ○家庭教育フォーラムの実施	○朝ごはん料理講習会の実施参加者 1,029名 ○子育て学習の出前講座の実施(小・中学校)118校 ○乳児期から思春期までの家庭教育学級の実施 ○家庭教育フォーラムの実施
当初予算額 12,100 千円	決算額 11,558 千円
構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,100 千円	H27	11,558 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	12,100 千円	合計	11,558 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

◎早寝早起き朝ごはん推進事業では、学校や地域と連携・協力しながら、朝ごはん料理講習会を39か所で実施した。アンケート結果では、朝ごはんの大切さを認識した、参加者で協力しあい楽しく調理できたといった声が多く寄せられ、基本的な生活習慣の形成や地域づくりに資することができている。

◎子育て学習出前講座については、小学校104校、中学校14校において、就学時健診や新入生学校説明会に家庭教育に関する講師を派遣し、講演を通じて家庭教育への意識啓発と家庭教育力の向上を図った。

◎乳児期から思春期までの家庭教育学級や、プレママ学級、父親学級、孫育て講座を実施することにより、子育ての知識や情報、親としてのかかわりなどを学ぶ機会を提供し、家庭教育の充実を図った。(乳児期家庭教育学級23講座、幼児期家庭教育学級21講座、児童期14講座、プレママ学級4講座、父親学級2講座、孫育て講座3講座)

◎家庭教育の大切さを再認識してもらい、家庭・学校・地域が連携して家庭の教育力の向上を目指していくため、PTAと連携して家庭教育フォーラムを実施した。

●28年度の取組

○引き続き、子どもの成長期にあわせた家庭教育学級を実施し、家庭教育の充実を図る。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	子育てフリースペースの開設(か所数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	15	13	14	14	15	15	5	106.7%
進捗状況		16						
指標2	保育者研修会の出席率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	90.0	90.0	90.0				4	103.1%
進捗状況		92.8						
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 子育て支援事業	
H27事業計画	H27事業成果
○子育て支援事業(絵本の読み聞かせ, 親子遊びなど) ○子育てフリースペース ○保育者研修会の実施	○子育て支援事業(親子遊びや情報提供誌の作成) ○子育てフリースペースの開設 ○全保育者を対象とした研修会
当初予算額 873 千円	決算額 934 千円
構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	873 千円	H27	934 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	873 千円	合計	934 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○子育て中の親子を対象に、絵本の読み聞かせや親子遊びを実施したり、子育てフリースペースを開設したりして親同士の交流を図った。このことにより、子育て中の親が、自身のもつ悩みを解消・軽減している様子が見られた。

○保育者の全体研修会を通して、改めて保育者は子育ての支援者であるということを学んでもらった。また、日頃話す機会の少ない他館の保育者とも交流することができ、貴重な情報交換の場となった。

●28年度の取組

○子育て中の親子を対象に、引き続き、親子遊びや子育てフリースペース事業を実施する。

○保育者研修会を実施し、家庭教育学級等での学習を支える保育者の資質向上を図ることにより、子育て中の親を支援する。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	生涯学習相談件数(件)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	297	300	310	320	330	340	4	99.7%
進捗状況	296							
指標2							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業	
H27事業計画	H27事業成果
○生涯学習情報提供システムの運営 ○学習情報の収集・提供及び学習相談 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 ○パソコン初心者向け講習会	○生涯学習情報提供システムの運営 ○生涯情報の収集・提供及び学習相談 参加者数 296名 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 参加者数 66名 ○パソコン初心者向け講習会
当初予算額 115 千円	決算額 104 千円
構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6 地域と学校パートナーシップ事業【再掲】	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115 千円	H27	104 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	115 千円	合計	104 千円

注:再掲事業分を含む

● 27年度の取組に対する評価

◎講師情報をまとめた生涯学習ガイドによる人材紹介を行い、市民の生涯学習活動を支援した。

◎生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供や学習相談及び出前による学習相談を実施し、市民の主体的な学習を支援した。

◎パソコン指導ボランティアによるパソコン初心者向け講習会及び専門学校との協働による講習会を実施した。

● 28年度の取組

◎市民の多様な学習ニーズに対応するため、引き続き生涯学習ガイドによる人材・講師情報の提供を図る。

◎市報やホームページ等による周知のほか、出前による相談を実施し、学習相談件数の増加を図る。

◎引き続き、パソコン指導ボランティアや専門学校と協働によるパソコン初心者向け講習会を実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
5.0

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)

※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	にいがた市民大学の受講率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	84.5	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	5	145.0%
進捗状況	122.5							
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	実施	実施					
進捗状況	実施							
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	実施	実施					
進捗状況	実施							
指標4	児童書の貸出冊数(冊)12歳以下の子ども1人あたり)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	12.1	12.2	12.4	12.6	12.8	13.0	5	108.3%
進捗状況	13.1							
指標5	レファレンス受付件数(件)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	69,600	72,000	72,800	73,500	74,200	75,000	5	119.5%
進捗状況	83,157							
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 にいがた市民大学開設事業	
H27事業計画	H27事業成果
○基本講座 3講座 ○市民提案講座 1講座 ○大学コンソーシアム連携講座 1講座	○基本講座 3講座 ○市民提案講座 1講座 ○大学コンソーシアム連携講座 1講座
当初予算額 6,514 千円	決算額 6,245 千円
構成事業2 現代的課題を学ぶ公民館事業	
H27事業計画	H27事業成果
○青年対象事業、環境に関する事業、高齢者問題に関する事業、その他市民ニーズのある事業の実施	○高齢者問題、青年対象事業の開催 ○セカンドライフ農業体験の開催(4館)
当初予算額 3,635 千円	決算額 3,061 千円
構成事業3 学習成果を発表する場の提供	
H27事業計画	H27事業成果
○文化祭などの開催	○各地域において文化祭や芸能祭を開催
当初予算額 3,429 千円	決算額 2,795 千円
構成事業4 子どもの読書環境の整備	
H27事業計画	H27事業成果
○第二次新潟市子ども読書活動推進計画策定記念講演会の開催 ○ブックスタート事業の継続およびアンケートの実施 ○赤ちゃんタイムの実施	○記念講演会を開催し186名参加 ○ブックスタートアンケートを実施し、対象者の85%から回答 ○赤ちゃんタイムの実施館を6館から8館に拡大
当初予算額 4,668 千円	決算額 4,374 千円
構成事業5 子どもが読書に親しむ機会の充実	
H27事業計画	H27事業成果
○子ども・親子を対象とした事業の継続 ○「うちどく(家読)」のチラシ等作成・配布 ○ボランティアの養成及びボランティア交流会の開催	○図書館ホームページ内にキッズページを新設 ○「うちどく(家読)」のチラシを新1年生に配布,また「うちどく読書ノート」を各図書館で配布 ○ボランティアの養成講座に6館154名,交流会に2館43名が参加
当初予算額 573 千円	決算額 489 千円
構成事業6 仕事や暮らしの課題解決のための情報提供事業【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○起業・経営相談会の開催 ○ビジネス支援セミナーの開催 ○くらしの情報講座の開催 ○職員に向けたレファレンス研修の実施	○起業・経営相談会を35回開催し40名参加,ビジネス支援セミナーを2回開催し46名参加,くらしの情報講座を2回開催し67名が参加 ○職員向けレファレンス研修を実施60名参加
当初予算額 3,388 千円	決算額 3,343 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	18,819 千円	H27	16,964 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	18,819 千円	合計	16,964 千円

注: 再掲事業分を含む

● 27年度の取組に対する評価

◎にいがた市民大学: 市民提案講座や大学コンソーシアム連携講座など、専門性の高い講座や、時代と社会の要請に応えた講座を合計5講座開設した。定員を大幅に上回る受講申し込みがあり、市民の高度で専門的な学習要求に応えた。

○環境を考える講座や高齢者の健康や生きがいづくり、退職を控えた世代の地域社会参加への支援事業など、現代的課題の学習機会を提供した。さらに学習成果を生かす場として、地域の歴史を学んだ受講者が講師となり小学校への出前授業や地域イベントで発表を行った。また、パソコンのサークル会員が講師となり、パソコン講座を開催し、若者向けのユースセミナーにおいても、自主サークルが結成され、更に学習を進めさらなる自己研鑽を重ねている。

○公民館利用者の日頃の学習成果の発表の場として、文化祭や芸能祭を開催して、学習意欲の向上を図った。

◎「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館では以下の事業を実施した。

- ・策定記念講演会を開催し、一般市民や読み聞かせボランティア、教職員など186名の参加があり、子どもの読書の意義や読書環境の整備の大切さについて、参加者に理解を深めてもらうことができた。
- ・ブックスタート事業を引き続き実施した。また、3歳児検診会場でアンケートを実施し、回答者の7割以上が読み聞かせを行っていることがわかった。ブックスタート事業の継続により家庭での読書活動が定着してきたと考えられる。
- ・「赤ちゃんタイム」を19館中8館で実施。子育て世代の図書館利用が少しずつ広がり、交流の場にもなっている。
- ・図書館ホームページ内にキッズページを新設し、子どもの利用促進を図った。

◎くらしや仕事の課題解決支援として、中央図書館では以下の事業を実施した。

- ・中小企業診断協会新潟県支部と連携し、「起業・経営相談会」を35回実施、40名の参加があった。参加者からは「相談したことで目標が明確になった」「準備してもらった資料が役立った」等の声が寄せられ、満足度の高い取組となった。
- ・新潟IPC財団と共催でビジネス支援セミナーを2回開催し、計46名の参加があった。セミナーの中でビジネスシーンでの図書館の課題解決支援についてPRすることができた。同内容のセミナーを亀田図書館でも開催した。
- ・新潟県行政書士会と連携し、「行政書士無料相談会」を58回開催し、75人の参加があった。今年度から亀田・新津・白根・坂井輪図書館でも開催し、多くの市民の参加に繋がった。

● 28年度の取組

◎にいがた市民大学: 市民提案講座や大学コンソーシアム連携講座など、専門性の高い講座や、時代と社会の要請に応えた講座を合計5講座開設する。全5講座における公開講座の実施や「子どもの世界」講座での保育サービスの実施により、より参加しやすい環境作りに努める。

○引き続き、環境問題についての学習や高齢者世代等への生きがいづくり・地域社会参加など、現代的課題の学習機会の提供を図るとともに、公民館利用団体や地区の芸術協会に対する文化祭・芸能祭等の学習成果発表の場を提供する。

◎「赤ちゃんタイム」実施館と「子育て支援コーナー」設置館の拡大を図る。

◎「うちどく(家読)」をさらに推進するため、「うちどく読書ノート」を継続して配布するとともに、「子ども司書講座」を開催する。また、学校でも「うちどく(家読)」に取組んでもらうよう、学校図書館支援センターから働きかける。

◎子どもの読書活動推進を図るため、ボランティアの養成を行う。

◎中央図書館で「起業・経営相談会」等の事業を引き続き実施し、課題解決支援の機会となるよう情報提供を行っている。また、ビジネス支援セミナーを開催し、ビジネスシーンでの図書館の活用についてもPRを図る。

○司書としてのスキルアップを図るため、レファレンス研修等を実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	41	45	46	47	48	49	5	124.4%
進捗状況		51						
指標2							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標3							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標4							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標5							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標6							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標7							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標8							H27評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1	地域課題解決への支援	
	H27事業計画	H27事業成果
	○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施	○積極的に地域団体連携し、関係づくりを進めながら、地域課題に取り組む事業を実施 ○コミュニティ・コーディネーター育成事業を全区で実施し、受講者に対して支援
当初予算額	4,952 千円	決算額 3,908 千円
構成事業2		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業3		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,952 千円	H27	3,908 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	4,952 千円	合計	3,908 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

◎地域コミュニティ活動活性化支援事業では、各館が地域団体と連携し、超高齢・少子社会に対応する事業、地域イベントを通じた学校と地域を結ぶ事業や地域住民の絆を深める事業等を実施した。また、コミュニティ・コーディネーター育成講座を全区で実施し、受講生たちが地域課題解決に向けた活動を実施している。

●28年度の取組

◎引き続き、地域の人材育成や絆づくりに取り組むとともに、コミュニティ・コーディネーター育成講座を全区で実施し、受講者に対しても支援を行っていく。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	1,210	1,240	1,270	1,300	1,330	1,360	5	126.5%
進捗状況		1,531						
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	1.93	2.00	2.10	2.20	2.30	2.50	4	102.1%
進捗状況		1.97						
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	4	4				4	
進捗状況		4						
指標4	公民館出前型事業の実施校数(校)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	66	66	67				5	109.1%
進捗状況		72						
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1	地域と学校パートナーシップ事業	
	H27事業計画	H27事業成果
	○本事業にかかる研修会の開催(第1・2・3研修会・教職員のみ対象の研修会・区研修) ○ウェルカム参観日等事業の市民への周知	○本事業にかかる研修会を開催し、学校担当者、地域教育コーディネーター、学社民融合支援主事合わせて延べ1,365名が参加 ○市民へ周知のため、ウェルカム参観日を16校で実施
当初予算額	147,834 千円	決算額 145,520 千円
構成事業2	ふれあいスクール事業	
	H27事業計画	H27事業成果
	○土曜日開催の参加者の増加のため、土曜プログラムをワーキンググループで検討し、作成。 ○土曜プログラムを4校でモデル的に実施し、検証	○地域の人材を活用した土曜プログラムをワーキンググループで検討し、モデル校4校においての実践・検証を実施 ○4校の実践発表やプログラム集を作成し、体験活動の機会を提供
当初予算額	41,716 千円	決算額 38,470 千円
構成事業3	公民館出前型事業	
	H27事業計画	H27事業成果
	○公民館出前型事業	○地域住民対象の公民館事業を学校を会場に実施
当初予算額	437 千円	決算額 369 千円
構成事業4		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	千円
構成事業5		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	千円
構成事業6		
	H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円	千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	189,987 千円	H27	184,359 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	189,987 千円	合計	184,359 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

◎指標目標「1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)」は1,531名で27年度目標を大きく上回った。これは、授業支援、教育活動支援ボランティアの増加に加え、27年度よりボランティアの位置づけが変わった登下校支援ボランティアを新たに計数した学校があったためと考えられる。

◎118校(70%)の学校で公民館と協働事業を行うなど(前年度比13.2%増)、学校、社会教育施設と地域活動を結ぶネットワークが深まった。これは、本年度よりパートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事が参加し情報交換したこと(延べ92名)、研修会で公民館の取組を紹介したことなどが影響を及ぼしたと考えられる。

◎地域と学校ウェルカム参観日を16校で実施し、のべ3,478名の参加があった。学校の教育活動を地域に広く発信することができた。

◎ふれあいスクールと放課後児童クラブが連携して行うことのできる活動の実技研修や互いの情報交換の場を設けたことで、27年度に共通のプログラムを実施した学校は6校になった。(第1回研修会6月 参加者合計193名、第2回研修会10月 参加者176名)

◎ふれあいスクールの土曜日における体験活動や学習の機会提供のためのプログラムを開発するためのワーキンググループを立ち上げ、モデル校4校において実践、検討を行った。第3回研修会において実践発表を行うとともに、他のプログラムも加えて「土曜プログラム集」を作成し、各ふれあいスクールに配付し、体験活動の機会の提供を図った。(プログラム数17 第3回の研修会2月 参加者合計249名)

◎ふれあいスクールの公民館出前型事業は、地域教育コーディネーターと連携しながら企画運営し、親子の調理実習や防災講座、夏休みを利用した体験講座など、全72校で実施した。

●28年度の取組

◎学校関係者の理解とより質の高い地域連携を促すため、校長を対象とした学校マネジメント研修を開催する。また、学校担当者の研修を改善する。

◎公民館学社民融合支援主事に加え、図書館職員にパートナーシップ事業研修会への参加を促す。

◎新任コーディネーターのスキルアップを図るため、新任コーディネーター研修を新設する。また、新任コーディネーターを支援するため、相談役としてアドバイザーコーディネーターを各区に配置する。

◎ふれあいスクール事業では、土曜日における体験活動や学習機会の提供のため、昨年度に引き続き、モデル校を通じて教育プログラムの整備を行う。同時に、昨年度末に完成した土曜プログラム集を活用しながら、土曜における体験活動や学習の機会提供を図る。

◎放課後児童クラブとの連携を強化するため、引き続きふれあいスクールの研修会に放課後児童クラブの支援員にも参加を呼び掛けるとともに、ふれあいスクールと放課後児童クラブの共通プログラムの実施例を紹介していく。

◎ふれあいスクールの公民館出前型事業では、引き続き学校や地域教育コーディネーターと連携して地域住民向けの事業を実施し、学校と地域、公民館とのネットワークづくりを進める。

●推進委員からの意見・要望等

◎施策9-(1)「地域と共に歩む学校づくりの推進」は、今期教育ビジョンの基本的考え方である「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」につながる中心的な施策だと先ほど説明があった。この施策をもっとダイナミックに確実に有効性のあるものしていくためには、学社民融合支援主事と地域教育コーディネーターとの連携・役割がとても大きいと思うが、現状はどうなっているかももう少し詳しく聞きたい。

→学・社・民の融合については、主に地域と学校パートナーシップ事業を通じて推進している。その事業において全学校に配置している地域教育コーディネーターと公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が参加して、市全体での研修会を年2回実施している。また、区ごとに集まって、顔の見える関係づくりや研修計画の情報交換なども行っている。今後も両者及び関係機関の職員との連携を深める取組を充実させていきたい。

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	16	16	16				4	100.0%
進捗状況	16							
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	8	32	56				4	400.0%
進捗状況	32							
指標3	にいがた共育通信(発行回数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	4	4	4				4	100.0%
進捗状況	4							
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○各区年2回実施	○各区年2回実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○市内24中学校区で実施	○市内24中学校区で実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3 教育情報発信事業(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
○A4判見開き4ページ。横書きカラー仕様。HPにも掲載 ○6月下旬・9月下旬・12月中旬・2月下旬の年4回発行 ○学校・園・関係機関等329か所に毎回66,300部発行 ○教育ビジョン中心施策の紹介	○予定どおり年4回発行 ○教育情報や学校・園の活動の様子について発信 ○他校の取組が参考になったとの評価 ○市長部局の課からの記事掲載依頼
当初予算額 1,646千円	決算額 1,464千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,646 千円	合 計	1,464 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○区教育ミーティング
 ・上半期及び下半期それぞれ計画どおり各区1回、計16回開催した。
 ・年度初めに自治協議会委員へ新潟市の教育に関する情報を提供。1回目のミーティングでは、法改正後の教育委員会制度や総合教育会議、教育の大綱について報告を行った。
 ・ミーティングは各区ごと希望するテーマで実施。コミ協や各団体など様々な立場から見た地域の課題について話し合うことができた。
 ・教育委員は担当区のミーティング概要を委員全員と共有するとともに、施策決定の場では地域の声をふまえた検討が行われた。

○中学校区教育ミーティング
 ・24中学校区で開催した。
 ・各中学校区の取組や課題について意見交換し、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図ることができた。

○にいがた共有通信
 ・計画どおり第37号から第40号まで年4回発行し、教育ビジョンの中心的施策のアピールに努めた。
 ・「新潟市教育ビジョン第3期実施計画」を特集記事として取り上げ、「教育の大綱」や「教育長からのメッセージ」、「総合教育会議」を紹介した。
 ・「キラキラ新潟っ子」の記事として、特色ある学校についての取組を各号2校ずつ計8校を紹介した。
 ・生涯学習情報として2つの公民館の特色ある活動や図書館でのイベント紹介。「ふれあいスクール」に熱心に取り組む学校を紹介した。また、第38号では、「クロスパルにいがた開館10周年」を記念特集として取り上げ、生涯学習センターの事業について紹介した。
 ・第40号では、特集記事として「アグリ・スタディ・プログラム」について紹介した。また、文化政策課が行っている学校への出前講座として、Noism2の講演の様子を紹介した。今後も学校に関わる取組については、広く教育委員会以外の課の活動も掲載したい。

●28年度の取組

○区教育ミーティング
 ・平成27年度と同様に、上半期・下半期各1回、計16回開催する。
 ・1回目のミーティングでは、平成28年度の特色ある施策について教育長から情報提供し、意見交換を行う。2回目は、1回目で行った意見交換をさらに深める。

○中学校区教育ミーティング
 ・各区3中学校区、計24中学校区で開催する。
 ・平成28年度で一巡するため、27年度同様に実施する。

○にいがた共有通信
 ・今年度も第41号から第44号まで年4回の発行を予定している。各特集では、総合教育センターが実施したアンケート調査の結果を基に、市内児童生徒の学習や生活の実態について紹介し分析を加えたい。また、教職員課が取り組んでいる権限委譲に関する内容や小中一貫教育に関する記事等の掲載を予定している。
 ・昨年度は、「にいがた共有通信」に対する感想や意見を求める送付鑑を添付するなどしたが反応はなかったため、今年度は各学校の負担にならないよう配慮しながらアンケート調査等の実施を考えている。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	1,210	1,240	1,270	1,300	1,330	1,360	5	126.5%
進捗状況		1,531						
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	1.93	2.00	2.10	2.20	2.30	2.50	4	102.1%
進捗状況		1.97						
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	4	4				4	
進捗状況		4						
指標4	放課後の学習支援をする中学校(校)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	56	56				4	
進捗状況		56						
指標5	公民館出前型事業の実施校数(校)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	66	66	67				5	109.1%
進捗状況		72						
指標6	公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	41	45	46	47	48	49	5	124.4%
進捗状況		51						
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
○本事業にかかる研修会の開催(第1・2・3研修会・教職員のみ対象の研修会・各区自主研修) ○ウェルカム参観日等事業の市民への周知	○本事業にかかる研修会を開催し、学校担当者、地域教育コーディネーター、学社民融合支援主事合わせて延べ1,365名が参加 ○市民へ周知のため、ウェルカム参観日を16校で実施
当初予算額 147,834 千円	決算額 145,520 千円
構成事業2 ふれあいスクール事業(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
○土曜日開催の参加者の増加のため、土曜プログラムをワーキンググループで検討し、作成。 ○土曜プログラムを4校でモデル的に実施し、検証	○地域の人材を活用した土曜プログラムをワーキンググループで検討し、モデル校4校においての実践・検証を実施 ○4校の実践発表やプログラム集を作成し、体験活動の機会を提供
当初予算額 41,716 千円	決算額 38,470 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○全市立中学校に、英語・数学の学習支援員を配置。 ○放課後普通講座運営。 ○学習支援員研修会実施。	○学習支援員を全市立中学校に配置し、事業を計画通り実施 ○5月に学習支援員連絡会、10月に学習支援員研修会を実施
当初予算額 6,000 千円	決算額 5,096 千円
構成事業4 公民館出前型事業(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
○学校を会場とした公民館の講座を開催	○地域住民対象の公民館事業を学校を会場に実施
当初予算額 437 千円	決算額 369 千円
構成事業5 地域コミュニティ活動活性化支援事業	
H27事業計画	H27事業成果
○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施	○積極的に地域団体連携し、関係づくりを進めながら、地域課題に取り組む事業を実施 ○コミュニティ・コーディネーター育成事業を全区で実施し、受講者に対しても支援
当初予算額 4,952 千円	決算額 3,908 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	200,939 千円	H27	193,363 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	200,939 千円	合計	193,363 千円

注：再掲事業分を含む

● 27年度の取組に対する評価

◎指標目標「1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)」は1,531名で27年度目標を大きく上回った。これは、授業支援、教育活動支援ボランティアの増加に加え、27年度よりボランティアの位置づけが変わった登下校支援ボランティアを新たに計数した学校があったためと考えられる。

◎118校(70%)の学校で公民館と協働事業を行うなど(前年度比13.2%増)、学校、社会教育施設と地域活動を結ぶネットワークが深まった。これは、本年度よりパートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事が参加し情報交換したこと(延べ92名)、研修会で公民館の取組を紹介したことなどが影響を及ぼしたと考えられる。

◎地域と学校ウェルカム参観日を16校で実施し、のべ3,478名の参加があった。学校の教育活動を地域に広く発信することができた。

◎ふれあいスクールと放課後児童クラブが連携して行うことのできる活動の実技研修や互いの情報交換の場を設けたことで、27年度に共通のプログラムを実施した学校は6校になった。(第1回研修会6月 参加者合計193名、第2回研修会10月 参加者176名)

◎ふれあいスクールの土曜日における体験活動や学習の機会提供のためのプログラムを開発するためのワーキンググループを立ち上げ、モデル校4校において実践、検討を行った。第3回研修会において実践発表を行うとともに、他のプログラムも加えて「土曜プログラム集」を作成し、各ふれあいスクールに配付し、体験活動の機会の提供を図った。(プログラム数17 第3回の研修会2月 参加者合計249名)

◎ふれあいスクールの公民館出前型事業は、地域教育コーディネーターと連携しながら企画運営し、親子の調理実習や防災講座、夏休みを利用した体験講座など、全72校で実施した。

◎学習支援員については、市報による2回の公募・面接選考を行い、数学28名、英語40名を登録した。市内56中学校全校に支援員を配置し、全ての中学校で事業を開始できた。これまでのところ計画どおりに進捗している。

● 28年度の取組

◎学校関係者の理解とより質の高い地域連携を促すため、校長を対象とした学校マネジメント研修を開催する。また、学校担当者の研修を改善する。

◎公民館学社民融合支援主事に加え、図書館職員にパートナーシップ事業研修会への参加を促す。

◎新任コーディネーターのスキルアップを図るため、新任コーディネーター研修を新設する。また、新任コーディネーターを支援するため、相談役としてアドバイザーコーディネーターを各区に配置する。

◎ふれあいスクール事業では、土曜日における体験活動や学習機会の提供のため、昨年度に引き続き、モデル校を通じて教育プログラムの整備を行う。同時に、昨年度末に完成した土曜プログラム集を活用しながら、土曜における体験活動や学習の機会提供を図る。

◎放課後児童クラブとの連携を強化するため、引き続きふれあいスクールの研修会に放課後児童クラブの支援員にも参加を呼び掛けるとともに、ふれあいスクールと放課後児童クラブの共通プログラムの実施例を紹介していく。

◎ふれあいスクールの公民館出前型事業では、引き続き学校や地域教育コーディネーターと連携して地域住民向けの事業を実施し、学校と地域、公民館とのネットワークづくりを進める。

◎10月に学習支援員研修会を実施し、情報の共有と講座運営のスキル向上を図る。平成28年度実施予定の開講講座の計画・準備を行うとともに、実施校へのアンケート調査・集計から運営方法の検討を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.7

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	高等教育機関からの専門的な情報提供, 指導等を受けている教育課題(課題)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	1	2	3				4	200.0%
進捗状況	2							
指標2	にいがた市民大学の受講率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	84.5	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	5	145.0%
進捗状況	122.5							
指標3	連携・協力の実施状況(連携事業数)(件)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	9	9	9	9	9	9	5	122.2%
進捗状況	11							
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 高等教育機関活用推進事業【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○文部科学省から、特別に支援を要する生徒に関する研究指定を受け、教育課程の特例の適用を考察して全体計画を立案し、試行的に実施	○特別支援教育では、社会で有用な人材になるための体験学習を教育課程に位置付 ○外国語教育では、アクティブラーニング推進のための模擬授業を行い、指導法について考察
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 にいがた市民大学開設事業(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
○基本講座 3講座 ○市民提案講座 1講座 ○大学コンソーシアム連携講座 1講座	○基本講座 3講座 ○市民提案講座 1講座 ○大学コンソーシアム連携講座 1講座
当初予算額 6,514千円	決算額 6,245千円
構成事業3 図書館と教育機関・企業との連携・協力	
H27事業計画	H27事業成果
○図書館の資料や情報により、企業等と協働を推進 ○新潟大学附属図書館、県立図書館との配本ネットワーク「めぐるくん」の継続実施 ※予算は図書館ネットワーク費や読書普及事業費を含む	○図書館の資料提供による共催事業実施や、専門団体、企業等との協働事業を実施 ○新潟大学附属図書館、県立図書館との配本ネットワークの継続実施(予算はネットワーク費や読書普及事業費を含む)
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6 地域と学校パートナーシップ事業【再掲】	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,514 千円	H27	6,245 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	6,514 千円	合計	6,245 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○障がいのある生徒を対象に、個々の障がいの状態の改善・克服を目的とした、個別の指導を取り入れていくための研究を推進し、効果的に能力・才能を伸ばすことができるよう、各教科・科目の授業を改善し工夫するための研究を行った。

◎にいがた市民大学:市民提案講座や大学コンソーシアム連携講座など、専門性の高い講座や、時代と社会の要請に応えた講座を合計5講座開設した。定員を大幅に上回る受講申し込みがあり、市民の高度で専門的な学習要求に応えた。

◎新潟大学附属図書館、県立図書館との配本ネットワーク「めぐるくん」を継続実施し、幅広い資料提供に努めた。

◎新潟日報社と連携し、郷土新潟を広報する展示を行った。

◎中央・亀田・新津・白根・坂井輪図書館で新潟県行政書士無料相談会を開催し、毎回ほぼ定員に達している。中央図書館では、新潟IPC財団の支援によりビジネス支援セミナーを開催し、こちらも参加者の満足が高かった。

◎坂井輪図書館では、新たな取り組みとして団体貸出制度を活用した民間団体等との協働モデル事業を実施し、市民が図書館施設外でも気軽に本に接する環境づくりに努めた。

●28年度の取組

○各教科・科目等の授業は通常の教室で受けつつ、高等学校内に設置した特別な指導教室において、コミュニケーション力や、人間関係を形成する力を育てるための個別の指導「自立活動」を受けることができるようにする。また、各教科・科目の授業において、障がいのある生徒が理解しやすい授業の在り方、ユニバーサルデザイン等の効果的な支援について検討する。

◎にいがた市民大学:市民提案講座や大学コンソーシアム連携講座など、専門性の高い講座や、時代と社会の要請に応えた講座を合計5講座開設する。全5講座における公開講座の実施や「子どもの世界」講座での保育サービスの実施により、より参加しやすい環境作りに努める。

◎新潟大学附属図書館、県立図書館との配本ネットワーク「めぐるくん」、新潟県行政書士無料相談会、ビジネス支援セミナーなどを継続実施する。

◎坂井輪図書館でモデル実施している団体貸出制度を活用した民間団体等との協働事業を、他の図書館でも実施できるか検討していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	学校関係者評価の結果に基づく検討・改善を行った学校の割合(%) (学校関係者評価の結果を公表した学校の割合)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0			100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0							
指標2	H27評価						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3	H27評価						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4	H27評価						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5	H27評価						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6	H27評価						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7	H27評価						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	H27評価						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 学校評価の充実	
H27事業計画	H27事業成果
○学校評議員の全学校設置 ○授業改善フォーラムの開催	○学校評議員が全学校配置され、学校評議員会開催により学校課題解決に向けての取組を実施 ○指導主事による学校訪問を年2回実施し、学校評価に基づく指導・助言を実施
当初予算額 4千円	決算額 23千円
構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4 千円	H27	23 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4 千円	合 計	23 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○各学校・園における学校評議員会の設置率は100%。学校評議員会や指導主事学校訪問が実施され、学校課題の解決に向けての資料として、学校評価が活用された。学校評議員を含めた地域住民から意見聴取したり、教育活動を参観していただいたりすることで、各校・園の教育活動が一層充実したものになってきている。

○学校関係者評価等の結果については、積極的に多くの学校・園が学校・園だより等で学校評価(中間評価結果)を公表するようになってきている。これにより、地域の方々や保護者からの理解が図られ、学校運営への参画意識醸成につながっている。

●28年度の取組

○学校・園の教育活動への地域住民の参加や意見聴取、学校関係者評価の結果公表などが、学校・園の教育活動のより一層の充実につながることを、学校訪問等の際に継続して指導・助言していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	生涯学習ボランティアの登録者数(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	1,380	1,386	1,392	1,398	1,404	1,410	4	97.4%
進捗状況		1,344						
指標2	公民館活動協力員との協働事業数(本)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	140	165	165	165	165	165	4	116.4%
進捗状況		163						
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 生涯学習ボランティア育成支援事業	
H27事業計画	H27事業成果
○生涯学習ボランティアの養成 ○生涯学習ボランティアバンクの登録・活用	○生涯学習ボランティアバンク登録者 1,344名 ○生涯学習ボランティアバンク派遣人数 458名
当初予算額 133 千円	決算額 112 千円
構成事業2 公民館活動協力員との協働事業	
H27事業計画	H27事業成果
○活動協力員会議 ○事業企画・運営	○活動協力員との協働事業を開催 ○活動協力員の研修
当初予算額 3,311 千円	決算額 5,197 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6 地域と学校パートナーシップ事業【再掲】	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	3,444 千円	H27	5,309 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	3,444 千円	合計	5,309 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能等を有する地域の人の有効活用を図るとともに、市民の学習活動の成果を地域社会に還元するためのボランティアバンクを設置し、登録されたボランティアの派遣を実施し、学びの循環を支援した。

○生涯学習ボランティア活動に興味、関心のある方を対象とした、ボランティア活動に生かす技法を学習する入門講座や、既に生涯学習ボランティアとして活躍している方を対象に、技量向上のためのフォローアップ講座を開催し、生涯学習ボランティアの学びの循環を促進した。

○各公民館では、地域の実情やニーズを事業に反映するため、活動協力員と連携して事業の企画運営を行った。

●28年度の取組

◎市報やホームページ等を通して、生涯学習ボランティアバンクの周知を行うほか、公民館や学校等と連携・協力して引き続き派遣を行う。

○生涯学習ボランティアが、自身の活動に生かす技法を習得できるように、地域で活動する生涯学習ボランティア向けの入門講座や、技量向上のためのフォローアップ講座を実施する。

○引き続き、公民館と活動協力員が連携して事業の企画運営等の活動を積極的に進めていく。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	8	34	68	102	136		4	425.0%
進捗状況		34						
指標2							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1	「防災教育」学校・地域連携事業(ふるさと新潟防災教育推進支援事業) 〔新規〕	
	H27事業計画	H27事業成果
	○「防災教育」学校・地域連携事業指定校を指定し、家庭や地域と連携した実践的な防災教育の推進	○「防災教育」学校・地域連携事業に34校を指定し、各中学校区で3回以上のミーティングを実施し、年度末に地域と連携した防災教育の自校化プログラムを作成
	当初予算額 12,600 千円	決算額 9,131 千円
構成事業2	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,600 千円	H27	9,131 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	12,600 千円	合計	9,131 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○「防災教育」学校・地域連携事業を34校を指定し、各中学校区における防災教育の現状と課題を共有し、小中及び地域と連携した自校化プログラム作成について協議を行った。

○5月には、各校の防災担当者及び地域教育コーディネーターを対象に、「防災教育」学校・地域連携事業実施研修会を開催した。そこでは、防災教育の理念と自校化の定義の共有を図り、新潟県防災教育プログラムの「教職員ガイド編」を用いて、防災教育の理念の共有を行い、防災教育の自校化についての説明を行った。また、H26年度、防災教育先進実践校による活動報告(4校)、中学校区単位でのワークショップを行った。その結果、各校の防災教育実践の方向と指導計画自校化のイメージをもつことができるようになった。

○各実践校では、地域と連携した避難訓練を行うなどの取組が行われるようになり、少しずつ地域と連携した取組が広がってきた。

○12月に、指定校34校より地域と連携した防災教育の自校化プログラムを提出してもらい、2月に「防災教育」学校・地域連携事業報告書が完成し、市内全小中学校に4冊ずつ配布した。

○2月25日に平成27年度「防災教育」学校・地域連携事業報告会兼平成28年度「防災教育」学校・地域連携事業研修会の開催した。平成27年度指定校における防災教育の実践報告を聞き、小中及び地域と連携した自校化プログラム作成について協議することを通して、平成28年度指定校は、系統的・継続的な防災教育指導計画作成の見通しをもつことができた。

●28年度の取組

○2月に、27・28年度指定校の防災教育担当者を対象に、実践報告会を開催し、防災教育の取組の情報交換と系統的・継続的な防災教育指導計画作成を行い、防災教育の拡充につなげていく。

○5月に各校の防災担当者及び地域教育コーディネーターを対象に、「防災教育」学校・地域連携事業実施研修会を開催する。そこでは、防災教育の理念と自校化の定義の共有を図り、新潟県防災教育プログラムの「教職員ガイド編」を用いて、防災教育の理念の共有を行い、防災教育の自校化についての説明を行う。

○年間3回以上の中学校区ごとの地域と連携した防災教育自校化プログラムを作成するためのミーティングを行う。

○2月に今年度と次年度の指定校の担当者を招集し、説明会と研修会の開催を行う。

●推進委員からの意見・要望等

○各校の防災担当者と地域教育コーディネーターが、コミュニティ協議会などの地域と連携して「防災教育」の自校化プログラムを作成するのと思うが、コミュニティ協議会と小学校とのつながりが強く、中学校とは少し距離があるように感じる。中学生は、日常的に校区内におり、体も大きく、力や判断力もあるので、ぜひ、その能力を活用してほしい。

⇒自校化プログラムは、中学校区単位で地域を巻き込んで作成している。したがって、防災訓練の際などは、中学生の力を活かした取組も実施されている。また、地域と学校パートナーシップ事業で、中学生が地域貢献活動として地域防災に参加している事例も増えてきている。着実に「防災教育」の自校化プログラムは根付いてきているととらえている。

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	地域と連携した組織的な見守り活動を行っている学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	57.5	100.0	100.0			100.0	4	173.9%
進捗状況		100.0						

指標2							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 地域見守り活動支援事業	
H27事業計画	H27事業成果
○「子ども見守り隊」実施要項の集約 ○スクールガードリーダーによる学校訪問及び安全指導 ○スクールガードリーダーと連携した子ども見守り隊の研修会を実施	○「子ども見守り隊」実施要項の集約 ○スクールガードリーダーによる学校訪問及び安全指導 ○スクールガードリーダーと連携した子ども見守り隊の研修会を実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円

構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	0 千円	合計	0 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○今年度から、各学校区ごとに地域住民や保護者と学校が連携し、子どもの見守りを目的とした組織を編成した。登下校時をはじめ、地域の実態に応じた見守り活動、子どもたちの安全確保を図っている。

○警察OBであるスクールガードリーダーが学校を巡回し、児童生徒への安全指導のポイントを指導したり、見守り隊に指導的立場でアドバイスをしたりするなど、安全対策の質の向上を図った。

●28年度 of 取組

○見守り活動は、PTAはじめコミュニティ協議会等と連携を図り、各学校区の実態に応じた活動としていく。「地域の子どもは地域で守る」という気運が一層醸成されるように、子ども見守り隊との情報交換や研修会等にスクールガードリーダーが参加し、各校との連携を図っていく。

○各校の実施状況等をまとめ積極的に情報提供し、学校と地域をつなげるよう環境整備に努めていく。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	市立学校施設の耐震化率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	98.0	100.0	100.0				4	102.0%
進捗状況		100.0						
指標2								
指標3								
指標4								
指標5								
指標6								
指標7								
指標8								

●施策を構成する事業

構成事業1 改築事業及び大規模改修事業	
H27事業計画	H27事業成果
○改築、大規模改修及び指定避難所耐震補強事業(屋体天井等耐震対策)で実施する。 ※額は、大規模改修だけの工事費も含む。	○改築、大規模改修及び指定避難所耐震補強事業(屋体天井等耐震対策)を行い、耐震性のある安全な施設整備を実施 ※額は、大規模改修だけの工事費も含む。
当初予算額 6,669,200 千円	決算額 7,333,239 千円
構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,669,200 千円	H27	7,333,239 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	6,669,200 千円	合計	7,333,239 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○耐震性のある安全な学校施設整備を以下の学校で進め、市立学校施設の耐震化率100%を達成した。

- ・改築による耐震化2校(南万代小, 木戸小)
- ・耐震補強による耐震化9校(東曾野木小, 東青山小, 大野小, 内野小, 卷南小, 藤見中, 卷東中, 卷西中, 沼垂幼)

○その他, 耐震化率に直接関わらないが, 非構造部材(屋内体育館等の天井, バスケットボールゴール等)の耐震対策として, 落下防止工事を実施した。

●28年度の取組

○非構造部材の落下防止工事について, 前年度から繰越した4校については, 年度内に完了する予定。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0			100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0							
指標2	就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0			100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0							
指標3	奨学生(高校～大学院)の採用率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0				4	100.0%
進捗状況	100.0							
指標4	奨学生(社会人)の採用率(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0				4	100.0%
進捗状況	100.0							
指標5	ふれあいスクール週当たり開催(回数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	1.93	2.00	2.10	2.20	2.30	2.50	4	102.1%
進捗状況	1.97							
指標6	土曜プログラムモデル実施校数(校)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	4	4				4	
進捗状況	4							
指標7	放課後の学習支援をする中学校(校)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	56	56				4	
進捗状況	56							
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 就学援助事業	
H27事業計画	H27事業成果
○学用品費など就学に係る費用の一部を補助 ○市内小中学校のすべての保護者に「お知らせ」を配付	○学用品費など就学に係る費用の一部を補助 ○市内小中学校のすべての保護者に「お知らせ」を配付
当初予算額 1,276,155 千円	決算額 1,247,880 千円
構成事業2 奨学金貸付事業(高校～大学院)	
H27事業計画	H27事業成果
○奨学金の貸付、返還 ○各地区奨学金の返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシの配布	○奨学金の貸付(290名)、返還 ○各地区奨学金の返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシの配布
当初予算額 130,943 千円	決算額 116,202 千円
構成事業3 社会人奨学金貸付事業	
H27事業計画	H27事業成果
○奨学金の貸付、返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシの配布	○奨学金の貸付(14名)、返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシの配布
当初予算額 9,000 千円	決算額 5,400 千円
構成事業4 ふれあいスクール事業(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
○土曜日開催の参加者の増加のため、土曜プログラムをワーキンググループで検討し、モデル校4校においての実践・検証を実施 ○土曜プログラムを4校でモデル的に実施し、検証	○地域の人材を活用した土曜プログラムをワーキンググループで検討し、モデル校4校においての実践・検証を実施 ○4校の実践発表やプログラム集を作成し、体験活動の機会を提供
当初予算額 41,716 千円	決算額 38,470 千円
構成事業5 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○全市立中学校に、英語・数学の学習支援員を配置。 ○放課後普通講座運営。 ○学習支援員研修会実施。	○学習支援員を全市立中学校に配置し、事業を計画通り実施 ○5月に学習支援員連絡会、10月に学習支援員研修会を実施
当初予算額 6,000 千円	決算額 5,096 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,463,814 千円	H27	1,413,048 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	1,463,814 千円	合計	1,413,048 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○就学援助は、私立学校も含めて全ての小・中学校で、4月に保護者全員に「就学援助制度についてのお知らせ」を配付した。児童生徒数59,813名のうち、認定者16,485名の保護者に対して、学校にかかる学用品費や給食費等の一部を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

○奨学金制度は、募集人数120名に対し、94名の申請があった。88名が選考基準を満たし採用を決定した。辞退者2名を除く86名に貸し付けを行い、高等教育の機会均等を図った。

○社会人奨学金制度は、募集人数10名に対し、2名の申請があった。申請者全員が選考基準を満たし採用を決定し、キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

◎ふれあいスクールの土曜日における体験活動や学習の機会提供のためのプログラムを開発するためのワーキンググループを立ち上げ、モデル校4校において実践、検証を行った。第3回研修会において実践発表を行うとともに、他のプログラムも加えて「土曜プログラム集」を作成し、各ふれあいスクールに配付し、体験活動の機会の提供を図った。(プログラム数17)

○学習支援員については、市報による2回の公募・面接選考を行い、数学28名、英語40名を登録した。市内56中学校全校に支援員を配置し、全ての中学校で事業を開始できた。

●28年度の取組

○就学援助制度においては、児童生徒の保護者に対して、4月に学校を通じて配付する「就学援助制度についてのお知らせ」を年2回に配付回数を増やし、制度周知の強化を図る。

○奨学金制度においては、市内の高校に在学する高校3年生全員に対して、案内チラシを学校を通じて配付し、返還特別免除制度においては、就職を決める機会を捉え、UIターンを促進する関係部署と連携しながら、積極的に制度のPRを図る。

◎ふれあいスクール事業では、土曜日における体験活動や学習機会の提供のため、昨年度に引き続き、モデル校を通じて教育プログラムの整備を行う。同時に、昨年度末に完成した土曜プログラム集を活用しながら、土曜日における体験活動や学習の機会提供を図る。

◎ふれあいスクールは青少年の健全育成の場であることから、運営主任の研修会において、実技講習、啓発を目的とした講演会、グループ情報交換会、実践発表等を行い、スキルアップを図る。

◎放課後児童クラブとの連携を強化するため、引き続きふれあいスクールの研修会に放課後児童クラブの支援員にも参加を呼び掛けるとともに、ふれあいスクールと放課後児童クラブの共通プログラムの実施例を紹介していく。

○アフタースクール学習支援事業は、全市立中学校に英語・数学の学習支援員を配置し講座を行う。講座の質的向上を目指して、5月に学習支援員連絡会、10月に学習支援員研修会を実施する。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.0

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	5.0	34.0	68.0		100.0	100.0	4	680.0%
進捗状況		34.0						
指標2	教育ネットワークの構築						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	調査・研究	調査・研究	計画策定	開発	稼働		
進捗状況		調査・研究						
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1	学校ICT環境整備事業	
	H27事業計画	H27事業成果
	○PC教室用の端末等機器の更新(タブレット端末含) ○校内LAN用PCの更新(タブレット端末含) ○教職員用PCの更新	○PC教室用の端末等機器の更新(50校 1,996台) ○校内LAN用PCの更新(92校 566台) ○教職員用PCの更新(111校 2,465台)
	当初予算額 747,575 千円	決算額 733,095 千円
構成事業2	教育ネットワーク構築事業【新規】	
	H27事業計画	H27事業成果
	○教育ネットワーク構築に係る導入効果等の調査・研究	教育ネットワーク構築に係る導入効果等の調査・研究を実施
	当初予算額 2,700 千円	決算額 2,106 千円
構成事業3		
	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4		
	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5		
	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6		
	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	750,275 千円	H27	735,201 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	750.275 千円	合 計	735.201 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○PC教室用の端末等機器の更新は、計画通りに終了した。(更新台数 1,996台)

○校内LAN用PCの更新は、計画通りに終了した。(更新台数 566台)

○教職員用PCの更新は、計画通り8月末までに終了した。(更新台数 2,465台)

○教育ネットワーク構築に係る調査・研究は計画通りに8月末で終了し、以下の課題・検討事項が明確化した。

- ・ICT教材の流通促進・・・作成した教材・資料の共有化、インフラを活用したノウハウやアイデアの共有の必要性
- ・ICTを活用した教員の指導力向上・・・教職員のスキルアップ、ICT活用研修やサポート体制
- ・情報端末等の整備・・・タブレットや無線LANの整備、ICT機器の不足
- ・ICT活用時のセキュリティ対策・・・児童生徒の個人情報管理方法、セキュリティポリシーの作成
- ・ICT管理・運用体制・・・ICT機器のトラブル対応、学校の担当者の責務

●28年度の取組

○PC教室用の端末等機器の更新は、平成23年度に設置された機器を更新する。

○校内LAN用PCの更新は、平成23年度に設置された機器を更新予定。

○教職員用PCは更新予定はなし。

○教育ネットワーク構築については、平成28年度は予算化されなかったため、引き続き調査・研究を行うとともに、平成27年度の調査・研究で明らかになった課題・検討事項について、関係課と協議し、今後の導入に向けた検討を行う。

●推進委員からの意見・要望等

基本施策 11	学校教育・生涯学習環境の基盤整備	施策(2)	コミュニティの拠点としての学校整備 (p.56)
---------	------------------	-------	--------------------------

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ボランティア室整備学校(累計校数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	43	45	47	49	51	53	4	107.0%
進捗状況		46						
指標2							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1	ボランティア室等の整備	
	H27事業計画	H27事業成果
	○大規模改修に伴い2校で整備 ※金額は、大規模改修の一部につき省略	○大規模改修に伴い3校で整備 ※金額は、大規模改修の一部につき省略
	当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2	H27事業計画	
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	H27事業計画	
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	H27事業計画	
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	H27事業計画	
	当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	H27事業計画	
	当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0千円	H27	0千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	0千円	合計	0千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○コミュニティの拠点となるボランティア室の設置について、大規模改修工事のなかで、計画より1校多く整備した。
・整備は3校(東青山小, 大野小, 小新中)

●28年度の取組

○引き続き、コミュニティの拠点となるボランティア室の設置について、改築、大規模改修工事のなかで整備を推進していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	大規模改修整備校数(校)(3年ごとに整備計画を見直す)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	15	14	12				4	93.3%
進捗状況		14						

指標2							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1	改築・新築、大規模改修及びその他の老朽改修事業【新規】	
	H27事業計画	H27事業成果
	○大規模改修工事を14校で実施する。 ※金額は、10-(3)と一部重複	○大規模改修工事を14校で実施(うち2校は繰越予算のため、実質の工事は来年度実施予定) ※金額は、10-(3)と一部重複
	当初予算額 4,024,400 千円	決算額 3,738,300 千円

構成事業2	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業3	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業4	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業5	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円

構成事業6	H27事業計画	H27事業成果
	当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,024,400 千円	H27	3,738,300 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	4,024,400 千円	合計	3,738,300 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○大規模改修工事については、2校の国補助が採択されず事業を来年度に見送ることとしていたが、9月に追加の補助採択の内示があり、本年度の予算として工事する運びとなった。(そのため実質の工事は来年度実施予定)
 ・その他の12学校については、大規模改造工事を行い、安全で快適な教育環境の整備を推進した。

●28年度の取組

○引き続き、安全で快適な教育環境の整備を進めるため、大規模改修工事を実施していく。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.0

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)

※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	生涯学習相談件数(件)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	297	300	310	320	330	340	4	99.7%
進捗状況		296						
指標2	図書館資料予約件数(件)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	686,000	694,000	706,000	718,000	731,000	743,000	4	106.0%
進捗状況		726,836						
指標3	市民一人当たりの図書館資料(雑誌、AVを含む)貸出点数(点)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	5.7	5.8	5.9	6.0	6.1	6.2	4	102.1%
進捗状況		5.8						
指標4	郷土資料のデジタルアーカイブ化・国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	試行・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧		
進捗状況		実施・閲覧						
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業(再掲)	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習情報提供システムの運営 ○学習情報の収集・提供及び学習相談 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 ○パソコン初心者向け講習会 	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習情報提供システムの運営 ○生涯情報の収集・提供及び学習相談 参加者数 296名 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 参加者数 66名 ○パソコン初心者向け講習会
当初予算額 115 千円	決算額 104 千円
構成事業2 図書館サービス向上事業	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○配本車の継続運行 ○図書館情報システムの更新 ○全図書館で無線LAN環境の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○配本車の継続運行 ○図書館情報システムの更新 ○オンライン館19館と1地区図書館で無線LAN環境の設置 ○図書館ホームページで、キッズページ(子ども向けページ)の公開
当初予算額 149,193 千円	決算額 143,836 千円
構成事業3 電子図書館機能の整備【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供 ○越後佐渡デジタルライブラリーへの参加 ○電子書籍の導入検討(平成27年度予算はシステム経費に含まれる) 	<ul style="list-style-type: none"> ○国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供 ○越後佐渡デジタルライブラリーへの参加 ○新潟図書館貴重資料のデジタルアーカイブ公開 ○電子書籍の調査分析
当初予算額 0 千円	決算額 0 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	149,308 千円	H27	143,940 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	149.308 千円	合 計	143.940 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

- ◎講師情報をまとめた生涯学習ガイドによる人材紹介を行い、市民の生涯学習活動を支援した。
- ◎生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供や学習相談及び出前による学習相談を実施し、市民の主体的な学習を支援した。
- ◎パソコン指導ボランティアによるパソコン初心者向け講習会及び専門学校との協働による講習会を実施し、市民の主体的な学習を支援した、
- 7月より新しい図書館情報システムに切り替わったことで、インターネットを活用した利用者サービスがより充実した。また、オンライン館19館と1地区図書室で無線LANを開始し、利用者の利便性が向上した。
- 予約件数が増えているが、これは、平成25年5月～7月に新津図書館、平成24年12月～平成25年8月に坂井輪図書館が休館していたものが開館し、平成26年度実績の予約件数が少なかったため、反動で平成27年度(平成26年度実績)の値が増えたことによる。
- 図書館向け電子書籍提供事業者2社のデモンストレーションなどの調査分析を行った。また新津図書館の貴重な郷土資料のデジタルアーカイブ公開を開始することで、資料保存に配慮しながら、広く郷土資料を提供できるようになった。
- 図書館のホームページで、キッズページ(子ども向けページ)を開始し、子ども、保護者、学校、児童サービスに関わる人々へ特化した情報提供を開始した。

●28年度の取組

- ◎市民の多様な学習ニーズに対応するため、引き続き生涯学習ガイドによる人材・講師情報の提供を図る。
- ◎市報やホームページ等による周知のほか、出前による相談を実施し、学習相談件数の増加を図る。
- ◎引き続き、パソコン指導ボランティアや専門学校と協働によるパソコン初心者向け講習会を実施する。
- 電子図書館機能の整備のため、郷土資料のデジタルアーカイブ化に重点的に取り組む。
- 図書館ホームページのキッズページ(子ども向けページ)の情報を充実させる。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	80.0	80.0	85.0				5	109.5%
進捗状況	87.6							
指標2	マスター養成塾修了者(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	102	102	108		114		4	101.0%
進捗状況	103							
指標3	学社民融合研修会の実施(回)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	7	7	7				4	100.0%
進捗状況	7							
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 教育関係職員の研修プログラムの一層の充実			
H27事業計画		H27事業成果	
○基本研修 ○専門研修 ○ステップアップ研修(マスター養成塾・若手教師道場)		○基本研修 19講座 2,942名 ○専門研修 73講座 3,901名 ○ステップアップ研修(マスター養成塾・若手教師道場) 28講座 1,175名 (計120講座 8,018名)	
当初予算額	5,967 千円	決算額	3,967 千円
構成事業2 学社民融合研修の推進			
H27事業計画		H27事業成果	
○ふれあいスクール研修(3回) ○地域教育コーディネーター研修(3回) ○日常業務力量形成研修(1回) ※1項目,2項目の当初予算額はシート9-(1)に掲載		○パートナーシップ事業研修会では延べ1,365名が参加 ○ふれあいスクール研修会では、放課後児童クラブ支援員を含め延べ618名が参加 ○公民館改革職員研修を1回開催, 118名が参加	
当初予算額	200 千円	決算額	53 千円
構成事業3			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額		決算額	千円
構成事業5			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H27事業計画		H27事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,167 千円	H27	4,020 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	6,167 千円	合計	4,020 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○教育関係職員の研修プログラムについて、27年度に実施した研修は以下のとおり。

- ・基本研修 19講座 受講者延べ 2,942名
- ・専門研修 73講座 受講者延べ 3,901名
- ・ステップアップ研修(マイスター養成塾・若手教師道場) 28講座 受講者延べ 1,175名 (計 120講座 受講者延べ 8,018名)

・受講者アンケートや懇談会などの意見を基に研修講座の新設・拡充に努めた結果、各研修講座に受講者の満足度は87.6%と目標を上回り、現場のニーズや教育課題に応じた研修が実施できた。

○マイスター養成塾は、平成27年度から原則受講期間を2年間とした。8名の入塾者があり1名がマイスターに認定されたため修了となった。

◎118校(70%)の学校で公民館と協働事業を行うなど(前年度比13.2%増)、学校、社会教育施設と地域活動を結ぶネットワークが深まった。これは、本年度よりパートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事が参加し情報交換したこと(延べ92名)、研修会で公民館の取組を紹介したことなどが影響を及ぼしたと考えられる。

◎研修幹事会(年2回)と区研修(計25回)を実施し、地域教育コーディネーターのスキルアップを組織的に図る仕組みを整えた。

◎ふれあいスクールと放課後児童クラブとの連携を進めるため、3回行った運営主任の研修会のうち第1回と第2回は、放課後児童クラブ(ひまわり)の支援員にも参加を呼び掛けた。そして、ふれあいスクールと放課後児童クラブとの連携しておこなうことができる活動の実技研修やお互いの情報交換の場を設けたことで、27年度に共通のプログラムを実施した学校は6校になった。(第1回研修会6月 参加者合計193名、第2回研修会10月 参加者176名)

◎ふれあいスクールの土曜日における体験活動や学習の機会提供のためのプログラムを開発するためのワーキンググループを立ち上げ、モデル校4校において実践、検証を行った。第3回研修会において実践発表を行うとともに、他のプログラムも加えて「土曜プログラム集」を作成し、各ふれあいスクールに配付した。(プログラム数17 第3回の研修会2月 参加者合計249名)

○公民館職員のスキルアップをはかるため日常業務力量形成研修を開催した。(公民館改革職員研修:11月29日、参加人数118名)

●28年度の取組

○新採用教員の増加に伴い、初任者研修はもちろん、若手教師道場白帯(2,3年目)・黒帯(4,5年目)対象者数も増加した。マンツーマンでの授業研修を維持し、若手教師の教師力向上を目指す研修講座の改善に努める。

○専門研修では、研修直後アンケートやモニター制度等により現場のニーズを探り、最先端の知識や技能を提供したり職種に応じた内容を工夫したりして、講座を設定した。研修意欲を高めるような質の高い内容の提供と、演習、模擬授業などの参加型の講座運営により教職員全体の指導力向上を図る。

○マイスター養成塾は平成27年度入塾者の養成期間の最終年となる。より多くのマイスター認定者を出すために、指導方法を共有したり、授業について指導する力を高める研修を行ったりして指導主事の指導力を高め、受講者の授業力向上を図る。

◎学校関係者の理解とより質の高い地域連携を促すため、校長を対象とした学校マネジメント研修を開催する。また、学校担当者の研修を改善する。

◎公民館学社民融合支援主事に加え、図書館職員にパートナーシップ事業研修会への参加を促す。

◎新任コーディネーターのスキルアップを図るため、新任コーディネーター研修を新設する。また、新任コーディネーターを支援するため、相談役としてアドバイスコordinaterを各区に配置する。

◎ふれあいスクールは青少年の健全育成の場であることから、運営主任の研修会において、実技講習、啓発を目的とした講演会、グループ情報交換会、実践発表等を行い、スキルアップを図る。

◎放課後児童クラブとの連携を強化するため、引き続きふれあいスクールの研修会に放課後児童クラブの支援員にも参加を呼び掛けるとともに、ふれあいスクールと放課後児童クラブの共通プログラムの実施例を紹介していく。

○公民館職員のスキルアップをはかるため日常業務力量形成研修を開催する。

●推進委員からの意見・要望等

○教育関係職員の研修プログラムが年々充実してきて、参加者の満足度も高い傾向にある。そして、さらに自分を高めようと、特別支援教育士のような民間研究団体が認定する資格の取得に挑戦する教育関係職員も出てきた。この資格取得については、時間的、費用的に個人負担が大変大きい。自治体によっては、認定に必要な研修を行政の研修プログラムの中に一部組み込んでいるところもある。市教育委員会としては、このような意欲のある教育関係職員へどのようなサポートを行っているのか、または、行う予定があるのか教えてほしい。

→特別支援教育に関する研修については、研修ニーズが非常に高く、総合教育センターで可能な限り、それに答えられるように研修講座を組んでいる。また、特別支援サポートセンターでは、遠隔地で行われている資格取得のために研修が、新潟市内で実施する場合は、学校へのメール配信で周知するように努めている。

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
3.7

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)

※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	放課後に子どもと接する時間が1週間あたり5時間以上の教員の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	64.2	65.0	66.0				4	102.5%
進捗状況		65.8						
指標2	教職員の病気休暇・休職者(30日以上)のうち精神疾患者の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	43.9	41.5	41.5				4	104.1%
進捗状況		42.1						
指標3	支援を要する教職員(人)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	15	14	14				3	100.0%
進捗状況		15						
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 多忙化解消対策の推進	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○多忙化解消に向けた取組に関する調査 ○調査結果の評価と多忙化解消に向けた支援 ○校長会等での意識啓発 ○教育委員会での学校の負担軽減策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○多忙化解消に向けた取組に関する調査の実施 ○調査結果を基に主な取組ヒント集を作成し学校に情報提供するなど、1校1取組の準備 ○校長会等での意識啓発 ○文書量調査の実施(3月)
当初予算額	124 千円
決算額	124 千円
構成事業2 教職員ヘルスケアシステム	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○心と体の相談室 ○メンタルヘルス研修・講座 ○職場復帰支援プログラム ○教職員健康管理委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○心と体の相談室(相談3件) ○メンタルヘルス研修・講座(6回・約300名受講) ○職場復帰支援プログラム(対象者延8名) ○教職員健康管理委員会(審査延66件)
当初予算額	714 千円
決算額	634 千円
構成事業3 支援を要する教職員の研修	
H27事業計画	H27事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ○研修者の状況に応じた研修計画の作成, 研修の実施 ○校園長との定期的な面談の実施 ○指導が不適切な教職員に関する委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修者の状況に応じた研修計画の作成, 研修の実施 ○校園長との定期的な面談の実施 ○指導が不適切な教職員に関する委員会(2月実施)
当初予算額	151 千円
決算額	78 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	989 千円	H27	836 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	989 千円	合計	836 千円

注: 再掲事業分を含む

● 27年度の取組に対する評価

○多忙化解消対策の推進
 ・管理主事による学校訪問や、校長面談において、学校園の多忙化解消の取組状況の把握と指導を行った。
 ・校長会等において、校長等の多忙化解消に関する意識の啓発を図った。
 ・子どもと向き合う時間が5時間以上の職員の割合が64.2%→65.8%と前年度より多くなった。
 ・学校の多忙化解消の取組について主な取組ヒント集を作成し、これを活用して1校1取組の準備ができた。

○教職員ヘルスケアシステム
 ・各種メンタルヘルス研修会の実施による教職員への啓発、健康管理委員会からの助言の学校現場への反映、精神疾患による休職者に対する職場復帰支援プログラムの実施、メンタルヘルス相談窓口の開設等を計画通り行うことで、精神疾患の病気休暇・休職者数が前年度よりも減少するとともに、全病気休暇・休職者に占める割合も低下した。

○支援を要する教職員の研修
 ・支援を要する教職員の人数は前年度と同数で指標目標を達成することはできなかった。
 ・学校訪問の際に、支援を要する教職員の状況について確認し校長と連携して校内研修の充実を図るとともに、学校からの要請により総合教育センターと連携して支援を要する教職員に対する研修を行って指導力向上を図った。特に、他機関(総合教育センター)との連携により継続して支援を行ったケースにおいて、指導力向上の成果が見られた。

● 28年度の取組

○多忙化解消対策の推進
 ・多忙化解消に向けた取組に関する調査を実施する。(学校調査・個人調査)
 ・各学校園の1校1取組を集約し、学校園の支援に生かす。
 ・調査結果を分析・評価し、それに基づき、成果をあげた取組や、取組のポイントを示した学校園の支援を行う。
 ・教育委員会内で、多忙化解消に向けた取組についての連携会議を実施する。
 ・教育委員会内での文書量調査を継続して行い、調査等の削減を図って行く。

○教職員ヘルスケアシステム
 ・健康管理委員会を開催し、教職員の休職の可否や復職の可否等について、病状の検討及び判定を行う。
 (健康管理委員会:月1回開催)
 ・精神疾患による病気休職者に対し、職場復帰の準備と再発防止を図るため、職場復帰支援プログラムを実施する。
 ・メンタルヘルス相談を実施し、教職員の心と体に関する不安軽減と健康保持増進を図る。

○支援を要する教職員の研修
 ・校園長からの聞き取り等を通じて、支援を要する教職員に関する情報収集に努める。
 ・学校からの相談に応じ、教職員の状況に即した指導力向上研修を個別に実施する。
 ・支援を要する教職員に関する委員会を開催する。

● 推進委員からの意見・要望等

○先生方は、「読書活動の推進」「新聞活用の充実」「体力づくりの推進」「情報教育の充実とICTを活用した教育の取組」など、子どもに対して行うことがたくさんある。そうすると、教職員の多忙さの解消というのが大切になってくる。現場の先生方の健康が何よりも大事で、その上で新しい教育の充実もして欲しい。このあたりのバランスは難しいと思うが、市教育委員会で行っている多忙化解消の取組の現状などを聞きたい。
 →学力向上や新しい教育内容への取組、さらにはいじめ・不登校の対応など、現在の教職員には非常に大きな負担がかかっており、多忙化解消の取組は大変重要であると認識している。そこで、取組の一つとして、子どもと向き合う時間を週5時間確保するという指標を設定し、そのための業務のIT化、行事や諸会議の精選などに各学校から取組んでもらった。平成22年度末に指標を達成した教職員は、約26パーセントだったが、現在では65.8パーセントまで数値があがってきている。ただし、ここ数年間は、この数値周辺で推移している。さらなる数値向上のために、学年別ノー残業デー取得など、各学校で効果のあった取組を集約して、各校に情報提供し、多忙化解消に向けての「1校1取組」を進めているところである。

基本施策	12	市民に信頼される教育関係職員の育成	施策(3)	信頼される教職員の採用・登用・配置 (p.60)
------	----	-------------------	-------	-----------------------------

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.3

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	出願倍率(倍)(出願数/採用者数)※現状はH27年度採用予定者数						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	4.1	4.2	4.9				5	134.1%
進捗状況		5.5						
指標2	女性管理職等の割合(%) ※次年度4月1日現在における目標値						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	36.0	38.0	37.0			40.0	3	98.3%
進捗状況		35.4						
指標3	マイスター配置校の割合(%)※マイスターのいる市立学校の割合						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	27.8	28.0	30.0				5	106.1%
進捗状況		29.5						
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 教員採用選考検査	
H27事業計画	H27事業成果
○教員採用選考検査の実施 ○翌年度の教員採用選考検査計画案の作成 ○人材確保のための工夫・改善	○教員採用選考検査の実施 ○平成28年度実施教員採用検査の骨格完成 ○人材確保のための工夫・改善について検討
当初予算額 3,769 千円	決算額 3,530 千円
構成事業2 管理職選考検査	
H27事業計画	H27事業成果
○管理職選考検査の実施 ○翌年度の管理職選考検査の計画案作成 ○女性管理職の人材育成	○管理職選考検査の実施 ○翌年度の管理職選考検査の計画案検討 ○主任層への女性教員の抜擢, 女性教員への啓発等
当初予算額 60 千円	決算額 55 千円
構成事業3 適材適所の人員配置	
H27事業計画	H27事業成果
○公正・公平・厳正な人事異動を基に、個々の職員の能力が發揮できる配置 ○各学校の課題に即した非常勤講師の配置	○公正・公平・厳正な人事異動を基に、個々の職員の能力が發揮できる配置 ○各学校の課題に即した非常勤講師の配置
当初予算額 15,239 千円	決算額 9,423 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	19,068 千円	H27	13,008 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	19,068 千円	合計	13,008 千円

注：再掲事業分を含む

● 27年度の取組に対する評価

○ 教員採用選考

- ・特別選考の区分に加えて、第1次検査に加点制度(資格・免許)を導入し、必要な人材確保を工夫した。
- ・受検者の健康面を配慮し、第2次検査会場を8年ぶりに変更し、空調設備の整った環境で複数の面接検査(個人面接A・B、集団面接)を通して人間力を中核とした採用選考を実施した。
- ・採用案内の刷新や採用選考検査ガイダンスを3会場から4会場に増やすなど人材確保のための啓発を図った。
- ・上記のような工夫・改善などにより前年度より高い募集倍率になった。(4.1倍⇒5.5倍)

○ 管理職選考

- ・民間面接官を含めた面接を実施するなど、公平性・透明性を確保した管理職選考検査を実施し、人物重視の登用をすることができた。
- ・公募校長選考では、新規2名、更新1名の応募があり、更新1名の任期を更新した。
- ・小・中・特別支援学校の教頭に占める女性の割合が拡大した。(H27.4.1現在16.6%→H28.4.1現在17.2%)。

○ 人事異動・人員配置

- ・人事異動会議での校長からのヒアリングを通して、正規・非常勤の教職員の能力や各学校課題を把握するとともに、地域に根ざした特色ある学校づくりに向け職住近接を考慮し、居住区、隣接区への配置に努めることができた。
- ・県から市への転入を希望する教職員については、人事異動登録票の提出を義務付けた。その結果、今後の転入希望者数の推移を正確に把握することができ、県と市で計画的な人事交流が図れるようにした。
- ・今年度の県との人事交流は、県への転出教職員数(教諭、養護教諭、事務職員)は66名、県からの転入教職員数139名である。市内に自宅があり、県から市内への転入を希望した教職員については全て受け入れ、市内配置を行った。
- ・平成29年度初以降の人事異動については、地域に根ざした特色ある学校づくりを視点とした異動を重視する。そのため、職住近接を考慮して、現在の勤務地区分(A,B,C,D)をA、B区分のみと改善した。人事異動方針説明会で新基準を校園長に説明し、その後、質問に対する回答を市内校園長に一斉配信する等を通して、現場への周知に努めることができた。

○ 非常勤講師の配置

- ・育児休暇、病気休暇等により欠員が生じて児童生徒の教育活動に支障をきたさないために、その都度、迅速に非常勤講師を配置した。
- ・各学校の実情に応じて、特別非常勤講師、実技指導困難代替非常勤講師、初任者研修代替非常勤講師を配置した。

● 28年度の取組

○ 教員採用選考

- ・校種間連携を踏まえた中学校・高等学校教諭共通の募集枠を設定、優秀な人材を採用するための特別選考検査の拡大、第1次検査の加点制度(資格・免許)を拡充するなど検査の工夫改善を図る。
- ・教員として服務・勤務の心構えを習得させるため、採用内定者を対象に採用ガイダンスを2回(11月と3月)実施する。

○ 管理職選考

- ・公平・公正・透明性のより一層の向上を図りながら、人物重視の登用を行うとともに、女性管理職の配置率向上に向け、啓発や働きかけを進める。

○ 人事異動・人員配置

- ・人事異動に係る新基準を基に、平成29年度初の人事異動を円滑に進められることができるようにする。
- ・平成29年度初の人事異動に向け、職住近接を基本に、適材適所の人員配置を行う。
- ・県との円滑な人事交流を行うために情報交換を密に行うとともに、人事異動登録票を基に先を見通しながら計画的に進めていく。
- ・女性管理職の登用を進めるため、教頭選考の受検資格対象となる主任層への女性教員の抜擢や、管理職選考検査の周知、校長や女性教員に対する意識啓発などの取組をより一層進める。

○ 非常勤講師の配置

- ・教職員の育児休暇、病気休暇等により、児童生徒の教育活動に支障をきたさないために、今後も引き続き迅速に非常勤講師を配置する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	評価者研修受講者の充実度(満足度)が高い人の割合(%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	87.3	90.0	90.0				4	101.6%
進捗状況	88.7							
指標2	優秀教職員の表彰						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	実施	実施					
進捗状況		実施						
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 教職員の人事評価制度の実施・改善	
H27事業計画	H27事業成果
○教職員評価の実施 ○評価者研修の実施 ○平成28年度から実施する教職員評価制度についての検討	○教職員評価の実施 ○評価者研修の実施(6回) ○有識者を交えた人事評価に係わる懇談会の開催 ○標準職務遂行能力表の作成
当初予算額 862 千円	決算額 881 千円
構成事業2 教職員表彰制度	
H27事業計画	H27事業成果
○被表彰者の選考と表彰の実施	○10名の優秀教職員を表彰
当初予算額 104 千円	決算額 53 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	966 千円	H27	934 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	966 千円	合計	934 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○教職員評価の評価者研修会を予定通り(6回)実施し、評価者としての力量向上を図ることができた。

○平成28年度からの教職員評価制度について、検討をすすめ、有識者を交えた人事評価に係わる懇談会を開催するとともに、新年度に活用を図る標準職務遂行能力表を作成した。

○教育委員会表彰に計27名の推薦があった。選考委員会で10名の表彰者を決定し、表彰式を実施した。

●28年度の取組

○平成28年度の教職員人事評価について、従来の目標設定シート及び評価シートを活用して、教職員評価の本来の目的である人材育成、組織の活性化を図れるように運用を進めるが、地方公務員法の改正に伴い、これまでの教職員評価を教職員人事評価に移行する。

○校園長・教頭に対する評価者研修を実施する。(4回開催)

○学校教育に携わる中で地道な努力を積み重ね、優れた実績をあげている優秀な教職員を表彰する。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	16	16	16				4	100.0%
進捗状況	16							
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	8	32	56				4	400.0%
進捗状況	32							
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○各区年2回実施	○各区年2回実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○市内24中学校区で実施	○市内24中学校区で実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0千円	H27	千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	0千円	合計	0千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○区教育ミーティング

- ・上半期及び下半期それぞれ計画どおり各区1回、計16回開催した。
- ・年度初めに自治協議会委員へ新潟市の教育に関する情報を提供。1回目のミーティングでは、法改正後の教育委員会制度や総合教育会議、教育の大綱について報告を行った。
- ・ミーティングは各区ごと希望するテーマで実施。コミ協や各団体など様々な立場から見た地域の課題について話し合うことができた。
- ・教育委員は担当区のミーティング概要を委員全員と共有するとともに、施策決定の場では地域の声をふまえた検討が行われた。

○中学校区教育ミーティング

- ・24中学校区で開催した。
- ・各中学校区の取組や課題について意見交換し、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図ることができた。

●28年度の取組

○区教育ミーティング

- ・平成27年度と同様に、上半期・下半期各1回、計16回開催する。
- ・1回目のミーティングでは、平成28年度の特徴ある施策について教育長から情報提供し、意見交換を行う。2回目は、1回目で行った意見交換をさらに深める。

○中学校区教育ミーティング

- ・各区3中学校区、計24中学校区で開催する。
- ・平成28年度で一巡するため、27年度同様に実施する。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	例規整備やシステム構築などの権限移譲準備						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	人給構築	人給稼働					
進捗状況		基本計画策定						

構成事業1 県費負担教職員の権限移譲準備【新規】	
H27事業計画	H27事業成果
○教職員人事給与システムの構築 ○国庫負担金・定数業務シミュレーションの実施 ○学級編制基準等の制定	○教職員人事給与システムの仕様確定・設計 ○国庫負担金・定数報告シミュレーションの実施 ○学級編制基準等の検討
当初予算額 126,415 千円	決算額 63,455 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	126,415 千円	H27	63,455 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	126,415 千円	合計	63,455 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○学級編制基準, 教職員の定数・配当について, 平成28年度の定数要求に向け, 現状の手法の分析や検討を進めた。
 ○教職員人事給与システムについて, WTO条約に基づき公募を実施し, 業者の選定を行った。その後, 選定業者とのシステム開発委託契約を行い, H29年4月からの給与支払い事務に向け, 仕様を確定させ, 設計を行った。
 ○義務教育費国庫負担金・定数業務のシミュレーションにより, 必要な作業の検証を行った。

●28年度の取組

○以下の業務を確実に実施する。
 ・教職員定数や, 学級編制基準, 教職員の配当基準を決定し, 権限移譲後の市内の学校に必要な教職員を確実に配当できることを目指す。
 ・権限移譲後の給与等支給事務が確実に実施できるように教職員人事給与システムの開発を進める。
 ・義務教育費国庫負担金について, 確実な申請作業を行う。
 ・教職員の勤務条件に関する関係例規(条例, 規則, 要綱等)の制定・改正を行う。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成 (達成率105%以上(95%未満))
- 4: 指標を概ね達成 (達成率95%以上105%未満(同左))
- 3: 指標をもう少しで達成 (達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満))
- 2: 指標を下回った (達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満))
- 1: 指標を大きく下回った (達成率75%未満(125%以上))

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	にいがた共有通信(発行回数)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	4	4	4				4	100.0%
進捗状況	4							
指標2							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 教育情報発信事業	
H27事業計画	H27事業成果
○A4判見開き4ページ。横書きカラー仕様。HPにも掲載 ○6月下旬・9月下旬・12月中旬・2月下旬の年4回発行 ○学校・園・関係機関等329か所に毎回66,300部発行 ○教育ビジョン中心施策の紹介	○予定どおり年4回発行 ○教育情報や学校・園の活動の様子について発信 ○他校の取組が参考になったとの評価 ○市長部局の課からの記事掲載依頼
当初予算額 1,646 千円	決算額 1,464 千円
構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	1,646 千円	合計	1,464 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○にいがた共育通信
 ・計画どおり第37号から第40号まで年4回発行し、教育ビジョンの中心的施策のアピールに努めた。
 ・「新潟市教育ビジョン第3期実施計画」を特集記事として取り上げ、「教育の大綱」や「教育長からのメッセージ」、「総合教育会議」を紹介した。
 ・「キラキラ新潟っ子」の記事として、特色ある学校についての取組を各号2校ずつ計8校を紹介した。
 ・生涯学習情報として2つの公民館の特色ある活動や図書館でのイベント紹介。「ふれあいスクール」に熱心に取り組む学校を紹介した。また、第38号では、「クロスパルにいがた開館10周年」を記念特集として取り上げ、生涯学習センターの事業について紹介した。
 ・第40号では、特集記事として「アグリ・スタディ・プログラム」について紹介した。また、文化政策課が行っている学校への出前講座として、Noism2の講演の様子を紹介した。今後も学校に関わる取組については、広く教育委員会以外の課の活動も掲載したい。

●28年度の取組

○にいがた共育通信
 ・今年度も第41号から第44号まで年4回の発行を予定している。各特集では、総合教育センターが実施したアンケート調査の結果を基に、市内児童生徒の学習や生活の実態について紹介し分析を加えたい。また、教職員課が取り組んでいる権限委譲に関する内容や小中一貫教育に関する記事等の掲載を予定している。
 ・昨年度は、「にいがた共育通信」に対する感想や意見を求める送付鑑を添付するなどしたが反応はなかったため、今年度は各学校の負担にならないよう配慮しながらアンケート調査等の実施を考えている。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	H27評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標2	H27評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3	H27評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4	H27評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5	H27評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6	H27評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7	H27評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	H27評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

●施策を構成する事業

構成事業1 学校適正配置の推進	
H27事業計画	H27事業成果
○新潟市立学校適正配置基本方針に基づいた学校適正配置の推進	○新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、潟東地域の3小学校の統合が完了 ○北区太田小学校の葛塚東小学校との統合が教育委員会で決定
当初予算額 2,261 千円	決算額 1,082 千円
構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,261 千円	H27	1,082 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	2,261 千円	合計	1,082 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進し、8地区14校において協議を行った。主な取組は下記のとおりであり、いずれも概ね順調に進行した。

- ・北区の南浜小学校、南浜中学校の適正配置を進めるため、コミュニティ協議会、PTAへ児童・生徒数の現状と推計に係る情報を伝えるとともに、今後の進め方について協議し、基本的な方向性として検討会の設立に向けて理解を得ている。
- ・北区の太田小学校に係る統合要望書が地域から提出され、葛塚東小学校への編入統合を教育委員会において決定した。
- ・秋葉区の満日小学校が阿賀小学校へ編入統合することを教育委員会会議で決定し、両校の統合実行委員会設立して、統合準備を進めている。
- ・西蒲区の潟東地区3小学校の統合実行委員会では、新設校の開校準備、校歌・校章の制定、閉校式典開催に係る協議及び準備作業を順調に終え、3月末で3校が閉校した。
- ・中央区の鳥屋野小学校で地域検討会が立ち上がり、児童数の増加に対応するための方策について協議を始めた。
- ・西区の新通小学校の分離新設に係る協議について、あらたに「新設小学校通学区域検討会」を設立し、通学区域設定作業を進めている。検討会では、関係する自治会内で「通学区域アンケート」を行い、地域の意見を集約し通学区域案が出来上がった。

●28年度の取組

○上半期に引き続き、新潟市立小中学校の学校適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進する。主な取組は次のとおりである。

- ・南浜小学校、南浜中学校に係る地域検討会の設立に向けて、具体的な協議を継続する。
- ・太田小学校の統合について、住民と保護者で統合実行委員会を立ち上げ、統合に向けた準備を進める。
- ・満日小学校と阿賀小学校の統合実行委員会において、統合後の円滑な学校運営が行われるように協議を進める。
- ・鳥屋野小学校の地域検討会において、継続して教育環境の向上に向け協議する。
- ・新通小学校からの分離新設する小学校の通学区域の案を、通学区域検討会で確定し、教育委員会会議で決定する。
- ・今後、学校適正配置が必要な地域へ情報提供を行う。

●推進委員からの意見・要望等

●H27施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ()内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	指標どおりに概ね達成した施策の割合 (%)						H27評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	75.0	75.0	90.2				5	120.3%
進捗状況		90.2						
指標2								
指標3								
指標4								
指標5								
指標6								
指標7								
指標8								

●施策を構成する事業

構成事業1 教育ビジョンの適正な推進	
H27事業計画	H27事業成果
○教育ビジョン推進委員会を3回実施 ○全54施策の進行管理・評価を実施	○教育ビジョン推進委員会の3回開催(5・10・2月) ○後期実施計画の評価シートの改善点を踏まえた、新評価シートを作成し、全54施策の進行管理・評価の実施
当初予算額 588 千円	決算額 609 千円
構成事業2	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H27事業計画	H27事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	588 千円	H27	609 千円
H28	千円	H28	千円
H29	千円	H29	千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	588 千円	合 計	609 千円

注:再掲事業分を含む

●27年度の取組に対する評価

○5月に、新潟市教育ビジョン後期実施計画平成26年度施策最終評価を行った。全施策の数値評価の平均は3.03となった。評価分布は、目標どおり達成した施策(=3)、目標を上回って達成した施策(=4)は、75.0%にのぼることから、施策全体としては順調に進捗していたと考える。また、同月に開催した教育ビジョン推進委員会における意見や助言を生かして、第3期実施計画につなげていく点・改善していくべき点を明らかにした。

○教育ビジョン後期実施計画の評価シートの改善点を踏まえて、第3期実施計画の評価シートを作成し、10月には、その評価シートを用いて、新潟市教育ビジョン第3期実施計画の全54施策の中間評価を行った。上半期の取組に対する教育ビジョン推進委員会の意見・助言を活かして、下半期の取組の改善につなげた。

○「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づく「教育委員会の事務執行にかかる点検・評価」として教育ビジョンの評価を活用した。

●28年度の取組

○教育ビジョン第3期実施計画の新しい評価シートを活用した評価を実施する。また、その評価結果に対する教育ビジョン推進委員会での意見や助言を生かし、28年度での適正な進行管理を進める。

○第3期実施計画の後半3か年を見通した指標目標となるように、年度末に指標目標値の見直しを行う。

●推進委員からの意見・要望等